

第二次栗東市住生活基本計画

第2回 策定委員会 資料

－報告事項－

1. 第1回 策定委員会の振り返り
2. 現行計画の評価
3. 市民アンケートの調査概要
4. 集計結果
5. 市民アンケートのまとめ

－協議事項－

1. 第二次栗東市住生活基本計画の方針とポイント

令和3年2月22日（月）

栗東市

－報告事項－

1. 第1回 策定委員会の振り返り
2. 現行計画の評価
3. 市民アンケートの調査概要
4. 集計結果
5. 市民アンケートのまとめ

- 社会経済情勢が急激に変化する現代では、住宅分野においても、様々な状況変化に対応した施策を迅速かつ的確に実施していくことが求められている。
- 第六次栗東市総合計画（令和2年3月策定）の下位に位置する**住生活分野の部門計画**としての位置づけを持つ計画として作成する。

計画策定の背景・目的

【栗東市の現状】

- 新規住宅地の整備の進行
- 中山道や東海道沿いの空き家の増加
- 市の財政悪化に伴う市営住宅の適切な維持管理・コスト縮減

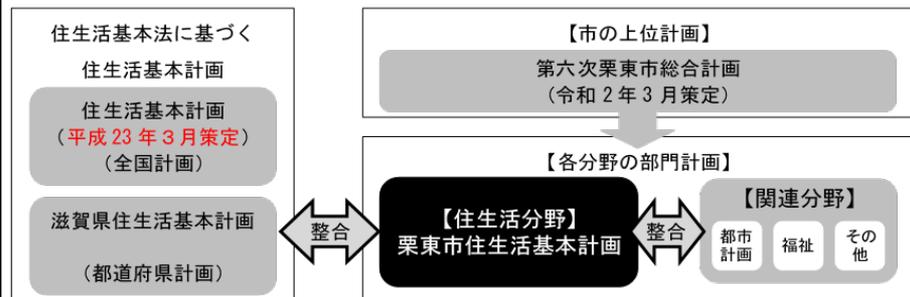
【社会情勢の変化】

- 人口減少社会や超高齢化社会の本格化
- コンパクト+ネットワークの持続可能な都市づくりの実現
- 新型コロナウイルスの流行によるテレワークの拡大、激甚化する災害への対応

【計画策定の目的】

- 良質な住宅ストックの形成・将来世代への承継
- 良好な居住環境の形成や多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備
- 住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保などを目指した施策の推進

計画の位置づけ・計画期間



- 策定にあたっては、住生活基本法に基づく住生活基本計画（全国計画、滋賀県計画）といった上位計画、関連する他部門の計画との整合性に十分留意する。
- 計画期間は**令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間**とし、計画の進捗状況や社会情勢の変化などに応じて5年を目途に見直しを行う。

- 策定調整会議（庁内）と策定委員会（外部）によって計画の内容を諮るものとして、下表のとおりの実施を予定している。
- その他、住民アンケートを令和2年12月、パブリックコメントの実施を令和4年1月～2月の実施を予定している。

	実施予定時期		主な議題
	策定調整会議	策定委員会	
第1回	令和2年11月10日	令和2年11月27日	現況・上位関連計画等の整理結果、アンケート内容の確認
第2回	令和3年2月12日	令和3年2月22日	アンケートの結果の確認 次期計画の方針の確認
第3回	令和3年5月下旬	令和3年6月下旬	問題点・課題の確認 重点施策の検討
第4回	令和3年10月下旬	令和3年11月下旬	パブリックコメントに向けた計画（案）の確認
第5回	令和4年2月	令和4年3月	パブリックコメントを踏まえた計画の確認

【その他スケジュール】

- 住民アンケートの実施：令和2年12月15日～令和3年1月15日
- パブリックコメントの実施：令和4年1月（回答期間は1ヶ月程度）

1. 第1回 策定委員会の振り返り ③前回の委員会の意見

○「第1回 第二次栗東市住生活基本計画策定委員会」において、指摘された事項や感想等を抜粋して掲載する。

第1回 第二次栗東市住生活基本計画策定委員会

■開催日時：令和2年11月27日（金） 13時30分～15時20分

■開催場所：危機管理センター3階 大研修室

分類	内容(抜粋)
計画策定	未達成理由や改善方法についての記述が不十分
木材利用の促進	将来を見据えて、現在、住教育を受けた子供たちが、木材を利用した住宅の素晴らしさを伝えることができるように市として取り組んでほしい
空き家対策	100年、200年もつような立派な住宅が多くあるが、空き家になることが想定されるため、その対応方法についても検討いただきたい
コミュニティ	コミュニティ形成と住宅政策は直接的な関連はみられないため、コミュニティの形成に住宅がどのような役割を果たしているのかを含めて考える必要がある
コミュニティ	地域コミュニティは重要と考える。本市におけるコミュニティ担当は自治振興課と考えるため、次期計画策定の際は、自治振興課等の関係部署も積極的に関わっていただきたい
計画策定	本計画は国や県の計画に準拠する必要もあるため、上位計画の進捗状況を把握して、次期計画に反映してほしい
計画策定	現行計画で掲げられる基本目標Ⅰ～Ⅳをベースに次期計画を作成すると思うが、ここで示される基本目標は技術的に実現可能か
空き家対策	約400戸ある公営住宅における空き部屋や、耐用年数を経過した物件も散見される。また、高齢化の進行も著しいことから、管理コストや福祉部局との連携の必要性について皆様からご意見をいただきたい
公営住宅	本市における公営住宅の最適な管理方法を考えていきたい。特に最近、課題となっている空き部屋については次期計画策定の中で考えていく必要があると考える
福祉 (高齢者・子育て支援)	空き家対策のなかで、高齢者が安心して暮らせるケアハウスや高齢者向け住宅の整備が望まれる
福祉 (高齢者・子育て支援)	自宅で元気に過ごしている高齢者も多いので、施設に入るのではなく、安心して暮らせる空き家の活用を次期計画に盛り込んでほしい
福祉 (高齢者・子育て支援)	今後は世帯別居住環境の確保が必要になってくると思う

2. 現行計画の評価 ①現行計画の概要

- 「栗東市住生活基本計画」は、栗東市における住生活政策の方向性や施策展開のあり方、課題に対する具体的な取組内容を明確にするものである。
- 以下に、現行計画の概要を整理する。

栗東市住生活基本計画 (H24.7)

■計画期間:平成24(2012)年度～令和3(2021)年度までの10年間

■基本理念:

ともに育む「風格都市 栗東」の豊かな住生活
～生涯安心して暮らせるまちづくり～

■基本目標と基本方針:(重点施策に位置付けられた項に下線)

基本目標	基本方針
I【居住環境】 誇りと愛着が持てる居住環境の育成	① <u>住教育の促進</u> ② <u>良好な街並み景観の形成</u> ③ <u>地域コミュニティの醸成</u> ④ <u>安全・安心で暮らしやすい都市基盤整備</u>
II【住宅ストック】 百年先を見据えた住宅ストックの形成	① <u>長く利用できる長寿命な住宅づくり</u> ② <u>環境負荷低減型の住宅づくり</u> ③ <u>災害や犯罪に強い住宅づくり</u> ④ <u>人にやさしい住宅づくり</u>
III【住宅市場】 多様な居住ニーズに適切に対応する住宅市場の形成	① <u>中古住宅ストックの流通促進</u> ② <u>伝統的民家の継承、活用促進</u> ③ <u>栗東産木材・県産木材の活用促進</u> ④ <u>適時・適切な住み替えの促進</u>
IV【セーフティネット】 柔軟かつ多様な住宅セーフティネットの構築	① <u>市営住宅ストックの有効活用</u> ② <u>多様な住宅セーフティネット機能の充実</u> ③ <u>高齢者の居住の安定化</u> ④ <u>子育て世帯支援サービスの充実</u>

■重点施策の展開方向:

住生活を巡る多様な課題、厳しい財政状況を踏まえ「官民協働で実施する施策」に分類される施策を重点施策と位置づけ、重点化した取組を展開するとしている。

重点施策	展開イメージ
①住教育の促進	1. 市民の住まいに対する知識・関心の向上 2. 小中学校などの学校教育と連携した住教育実施 3. 住まいの絵本など、住教育用の教材の作成
②良好な街並み景観の形成	1. 景観まちづくりに対する意識啓発 2. 良好な街並み景観形成に向けた規制誘導
③地域コミュニティの醸成	1. 住民主体のまちづくりに対する支援 2. シンポジウム、講演会、イベントなどの開催
④中古住宅ストックの流通促進	1. 安心して取引できる市場環境の確保 2. 市民が気軽に相談できる相談体制の充実
⑤伝統的民家の継承、活用促進	1. 空き家化の要因、所有者の活用意向に関する調査(旧街道沿いなど) 2. 所有者と利用希望者のマッチングに向けた仕組みづくり 3. 伝統的民家の維持保全に向けた多様な支援の実施
⑥栗東産木材・県産木材の活用促進	1. 県産材を活用した住宅の情報発信 2. 県産材の流通促進に向けた普及啓発

2. 現行計画の評価 ②現行計画の達成状況

○基本目標に基づく住生活施策の実施状況は下表のとおり。

基本目標	基本方針	実施状況
基本目標Ⅰ 誇りと愛着が持てる 居住環境の育成	● 住教育の促進	小中学校での住生活・環境教育、他機関の冊子配架など
	● 良好な街並みの形成	景観条例等の規制誘導（宅地内緑化など）、意識啓蒙イベントの実施、景観まちづくり市民団体の活動支援など
	● 地域コミュニティの醸成	栗東市街づくり推進事業補助など
	● 安全・安心で暮らしやすい都市基盤整備	土地区画整理による道路・公園の整備、適切な民間プロジェクトの誘導（開発・福祉面）など
基本目標Ⅱ 百年先を見据えた 住宅ストックの形成	● 長く利用できる長寿命な住宅づくり	相談窓口の新設・運営など
	● 環境負荷低減型の住宅づくり	省エネ設備の導入促進（太陽光利用、エコ給湯）、「うちエコ診断」の実施、耐震診断、耐震セミナー開催など
	● 災害や犯罪に強い住宅づくり	耐震化支援（無料相談、講座開催、耐震診断、税制優遇）、防災・防犯活動の支援、ハザードマップ作成など
	● 人に優しい住宅づくり	バリアフリーの推進（住宅改修助成、講座）など
基本目標Ⅲ 多様なニーズに適切に 対応する住宅市場の形成	● 中古住宅ストックの流通促進	空家状況把握、所有者と居住者のマッチング支援（りっとう空家バンク設立）など
	● 伝統的民家の継承と活用促進	ほとんどが住宅として活用を継続など
	● 栗東産木材・県産木材の活用促進	公共事業での地産材採用（条例化）、SGEC森林認証の更新など
	● 適時・適切な住み替えの促進	※実施なし
基本目標Ⅳ 柔軟かつ多様な 住宅セーフティネット の構築	● 公営住宅ストックの有効活用	公営住宅の長寿命化改修（外壁等）、シルバーハウジング設置、入居者の適正化（収入超過者の退去促進）など
	● 多様な住宅セーフティネット機能の充実	入居審査の円滑化（入居者の多様化）、「滋賀あんしん賃貸支援事業」への参加と冊子配布など
	● 高齢者の居住安定化	見守り支援（緊急通報システム、見守り活動）、住宅改修助成（バリアフリー、耐震）、高齢者向け住宅の普及啓発
	● 子育て世代支援サービスの充実	地域子育てセンター（情報提供）など

2. 現行計画の評価 ③住生活施策の効果

○住生活施策を実施を通じて、各種目標において様々な成果が得られている。

基本目標	基本方針	住生活施策 実施の成果(抜粋)
基本目標Ⅰ 誇りと愛着が持てる 居住環境の育成	● 住教育の促進	・学習を通して、二酸化炭素排出や地球温暖化などの問題について考えさせるとともに、工夫した住生活の重要性に気づかせることができた。
	● 良好な街並みの形成	・市民等に景観について考えていただくことで、地域の良さの再認識、隠れた景観の発掘、自分の住む街を見つめ直してもらい機会づくり、景観に対する意識を変える機会づくり等の啓発ができた。
	● 地域コミュニティの醸成	・助成団体により、地元地域住民が主体的に実施して、地域のふれあいと賑わい、地域の良さの再認識への取り組みとなっている。
	● 安全・安心で暮らしやすい都市基盤整備	・狭隘な生活道路の拡幅を推進し、地域の良好な居住環境の確保及び防災機能の強化による安全・安心のまちづくりの実現を図ることができている。
基本目標Ⅱ 百年先を見据えた 住宅ストックの形成	● 長く利用できる長寿的な住宅づくり	・バリアフリーリフォーム改修と併せて耐震改修を行うことにより耐震化のアップに繋がっている。
	● 環境負荷低減型の住宅づくり	・住宅の耐震化に関する啓発を行うことにより、住宅の長寿化に向けた情報提供を行った。 ・一定額以上の省エネ製品を購入された方に対して補助を実施することで温室効果ガス排出削減を図ることができた。
	● 災害や犯罪に強い住宅づくり	・出前講座を通じて、市民に耐震化に向けた啓発活動を実施し、地震被害の抑制に対する市民の意識向上を図ることができた
	● 人に優しい住宅づくり	・住宅改修により、対象者の自宅での日常生活を改善するとともに、介護者の介護負担の軽減に成果があった。
基本目標Ⅲ 多様なニーズに適切に 対応する住宅市場の形成	● 中古住宅ストックの流通促進	・協定に基づき不動産仲介段階で滋賀県宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会滋賀県本部に協力を仰ぐことで、安心・適正な取引の実施が期待できる。
	● 伝統的民家の継承と活用促進	・空家所有者等にその物件に関する意向調査を実施しており、所有物件等の適正な管理への意識付けができた。
	● 栗東産木材・県産木材の活用促進	・栗東市として木材利用方針を示し、公共建築物や公共工事において年度的ではあるが地域産材を積極的に利用していることから、木のぬくもりや木材の良さを見直すきっかけとなり、森林づくりにおける木材利用の重要性や森林整備の大切さが意識されてきた。
	● 適時・適切な住み替えの促進	※実施なし
基本目標Ⅳ 柔軟かつ多様な 住宅セーフティネット の構築	● 公営住宅ストックの有効活用	・入居者が、収入超過になったときに文書通知及び特公賃の案内をしている。入居者に収入超過であるとの意識付けはできていると思われる。
	● 多様な住宅セーフティネット機能の充実	・申込者の貧困に関する点数が高くなり、市営住宅抽選会へ進み易くなっている。
	● 高齢者の居住安定化	・住宅の耐震・バリアフリー改修工事にかかる固定資産税(家屋)の軽減措置を通して、改修工事の実施が進み、安全・安心な住生活の確保が図られた。
	● 子育て世代支援サービスの充実	・家庭内保育をされている保護者にとっては、児童館におけるさまざまな子育て支援施策によって、子育てに係る孤独感や不安感の払拭と児童虐待の防止にも効果があった。

2. 現行計画の評価 ④住生活施策の課題

○進捗が芳しくない住生活施策を整理すると、具体的な計画等がない、現状にそぐわないなど課題が散見される。

課題① 施策を推進する**具体的な計画・スケジュール**が定まっていない

⇒担当課において、目的を明確化し、計画期間内の具体的な取組スケジュールと明確な役割分担を定めることが必要。

該当する 住生活施策	<ul style="list-style-type: none"> ・住教育の取組みなどによる景観まちづくりに対する意識啓発 ・住民主体のまちづくりイベントなどに対する支援 ・市外からの転入者など、新しい居住者が参加しやすいイベントやシンポジウムの開催支援 ・住民主体のまちづくり活動のPRIに向けた情報発信の充実 ・栗東産木材・県産木材を活用した住宅の情報発信 ・「景観計画」「景観条例」「景観協定」「地区計画制度」「いけがき設置条例」などの規制誘導手法の普及啓発
---------------	--

課題② 庁内・外部で連携した施策推進を**主導する組織体制**が不明瞭

⇒各施策の推進を担うべき組織や連携体制、役割分担等を明確化することが必要。情報発信など民間が得意な部分は、民間に任せてサポートを行うなど、目標設定に合致した柔軟かつ効率的な体制構築が望ましい。

該当する 住生活施策	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体の横の連携確保に向けた組織体制づくり ・国、県と連携した建築廃棄物の規制・処理への取組み強化 ・伝統的民家の維持保全に向けた多様な支援の実施 ・「木の香る淡海の家推進事業」「びわ湖材産地証明制度」など栗東産・県産木材活用に向けた各種支援制度の普及啓発 ・専門家による住み替え相談、アドバイスなどの仕組みづくり
---------------	--

課題③ 施策の推進に必要な**財政面での優先順位が低い**

⇒限られた予算の中、実施済み事案の効果検証を確実にし、必要性や優先順位等を見極めながら、施策推進の方策・スケジュールを適宜検討していくことが必要。

該当する 住生活施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域優良賃貸住宅の供給 ・サービス付き高齢者向け住宅の普及啓発 ・専門家による住み替え相談、アドバイスなどの仕組みづくり
---------------	---

課題④ 民間サービスの充実や状況の変化等により、**行政が行う必要性が低下した**

⇒目的実現のために民間ツールの採用や形式の柔軟化など、より合理的な施策への見直し・検討を加えることが必要。

該当する 住生活施策	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの絵本など、住教育用の教材の作成 ・栗東産木材・県産木材を活用した住宅の情報発信 ・サービス付き高齢者向け住宅の普及啓発 ・専門家による住み替え相談、アドバイスなどの仕組みづくり
---------------	--

3. 市民アンケートの調査概要 ②設問の概要

- 設問の概要は下表のとおり。
- 回答に要する時間は約10～15分程度を想定。

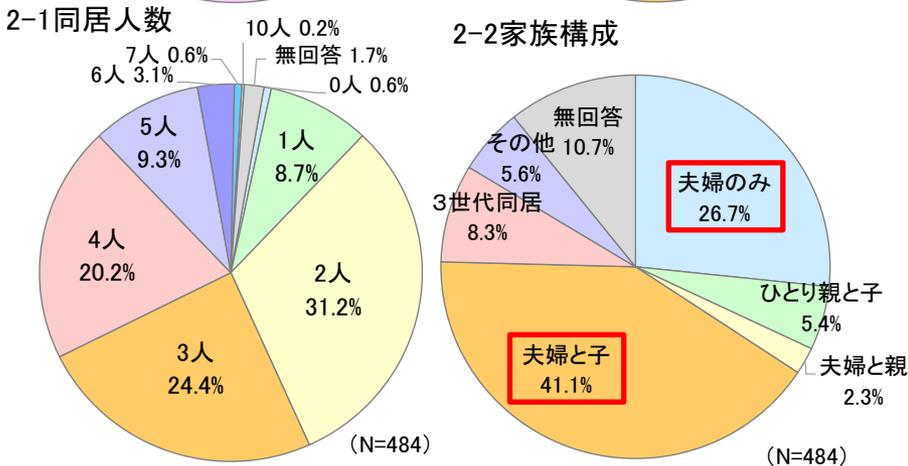
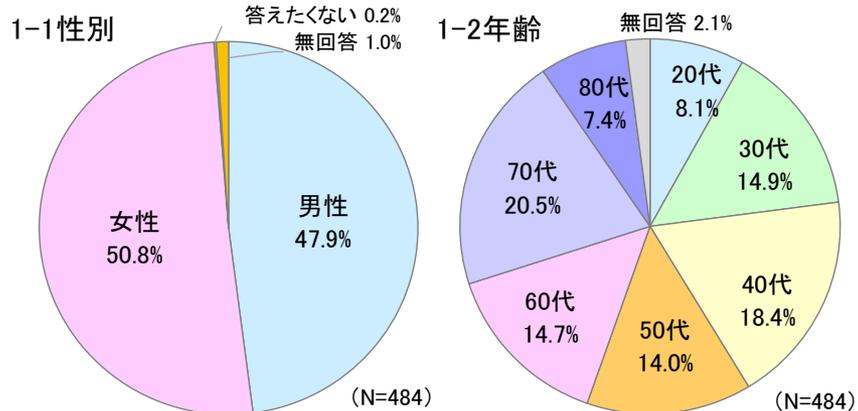
★:現行計画策定時の実施アンケートから追加した設問

設問	設問内容	備考／設問の狙い	
1. 回答者の属性	問1	性別、年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・集計の際の分析軸とする。 (年齢、性別、居住年数等々による課題やニーズの違いを把握する)
	問2	同居家族人数、家族構成	
	問3	同居家族の中にいる人	
	問4	栗東市での居住年数★	
	問5	居住地区(小学校区)、居住地区での居住年数	
	問6	自家用車の有無	
	問7	職業★	
	問7-1	通勤・通学先	
	問8	居住形態	
2. 住まい・周辺環境	問9	住宅の建築年数★	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい・周辺環境における問題点(不満点)を把握する。
	問10	お住まい(住宅)に対する満足度	
3. 栗東市らしい住まいや住環境	問11	お住まいの周辺環境(住環境)に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市全体の住み良さに対する満足度を把握する。
	問12	「栗東市の住み良さ」の点で自慢できるもの	
4. 定住・転居意向	問13	重要だと考える住まい・住環境づくり(長期・短期視点での回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい・住環境整備の政策を進める上で短期・長期的なニーズ、優先度を把握する。
	問14	現在の住まいへの定住意向	
	問14-1	住み替えたくてもできない主な理由	
	問14-2	住み替えたい場所	
5. 住宅や住環境で重視する点	問14-3	問14で回答した場所を選んだ理由★	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市での定住施策を進める上で、競合(参考)となる都市を把握する。
	問15	今後住宅を選ぶ場合に重視する点	
6. 住宅リフォーム	問16	住宅リフォームの予定の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォームに対するニーズ(内容、実施に対する支援など)を把握する。
	問16-1	リフォームの内容	
	問16-2	リフォームを予定していない理由	
7. 高齢期の住まい	問17	高齢期に希望する住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための住まい・住環境整備の政策を進める上でのニーズ、優先度を把握する。
	問18	高齢者が安心して生活していくために必要な取り組み★	
	問19	高齢者が安心して生活していくために必要な住宅性能	
8. 子育て世帯の住まい	問20	子育てするために、住まいについて重要な点★	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の住まい・住環境整備の政策を進める上でのニーズ、優先度を把握する。
	問21	子育てするために、住環境について重要な点★	
9. 住まいと暮らしに関する情報	問22	住まいと暮らしに関する情報について関心のある内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい・住環境の情報提供を行う上での、提供内容に対するニーズを把握する。
10. 魅力ある住まいづくりのための提案	問23	栗東市の良さを活かして魅力ある住まいや住環境づくりを進めていくための提案(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目以外での、住まい・住環境整備の政策を進める上でのニーズを把握する。

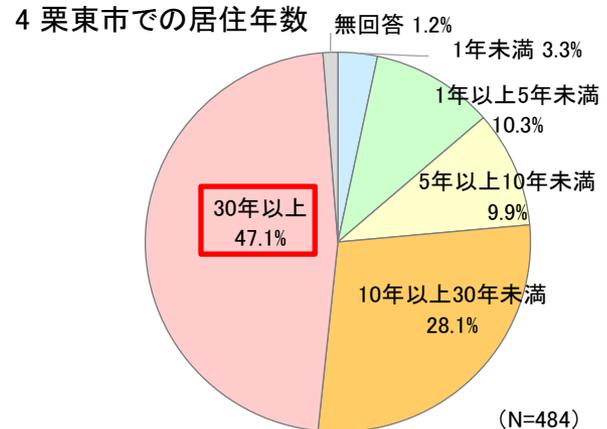
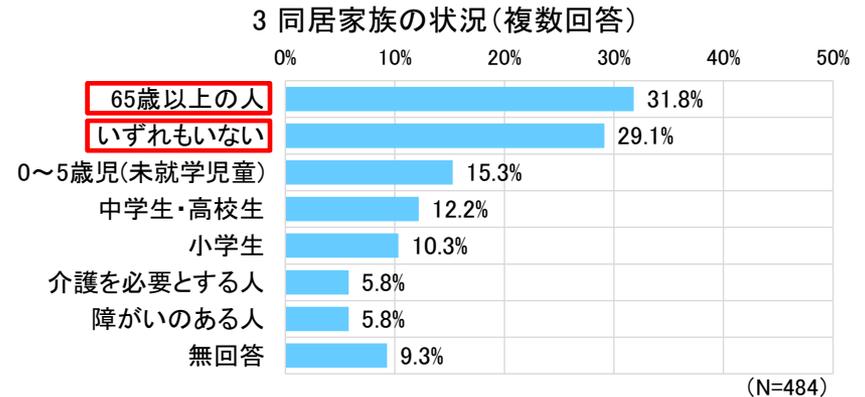
4. 集計結果 ①回答者の属性:回答者・家族の状況

- 性別は、「男性(47.9%)」「女性(50.8%)」。年齢は、「70代(20.5%)」が最も多く、「80代(7.4%)」が最も少ない。「30代~60代」は、概ね同じ割合となった。
- 家族人員は、「2人世帯(31.2%)」「3人世帯(24.4%)」「4人(20.2%)」が多く、全体の7割以上(75.8%)を占める。
- 家族構成は、「夫婦と子(41.1%)」「夫婦のみ(26.7%)」が多く、全体の約7割(67.8%)を占める。
- 同居家族は、「65歳以上(31.8%)」との同居が3割以上ある。一方で、「いずれもない(29.1%)」の回答も約3割となった。
- 栗東市での居住年数は、「30年以上(47.1%)」と最も多く、全体の約5割を占める。

性別・年齢・家族構成



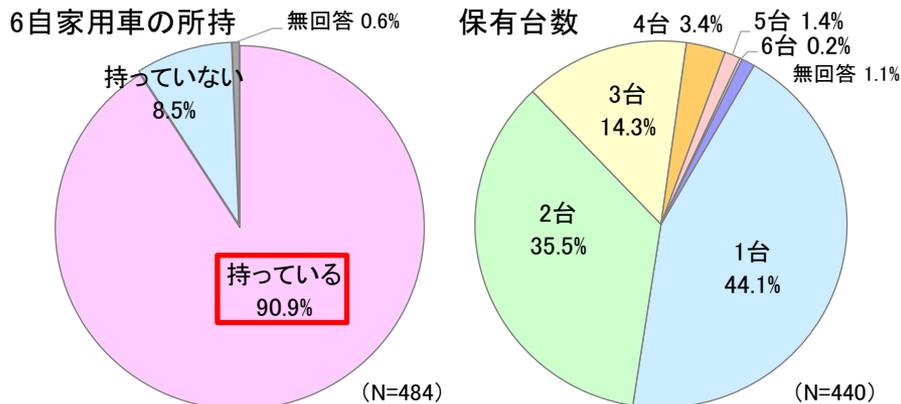
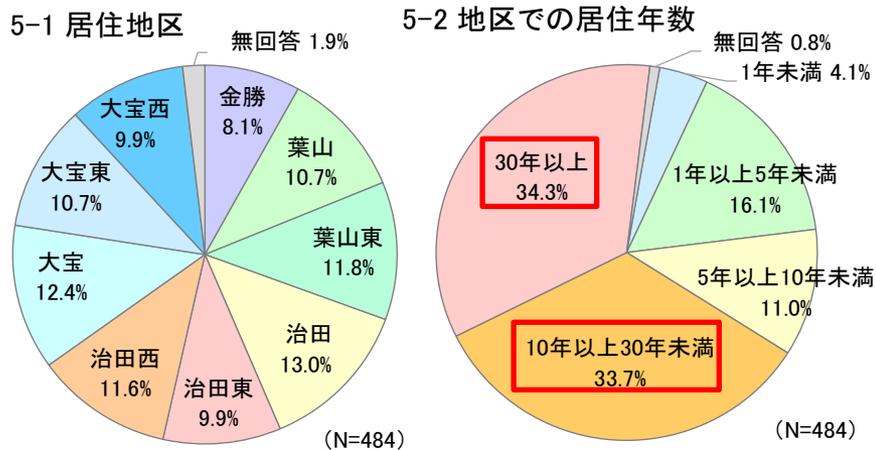
同居家族の状況・栗東市居住年数



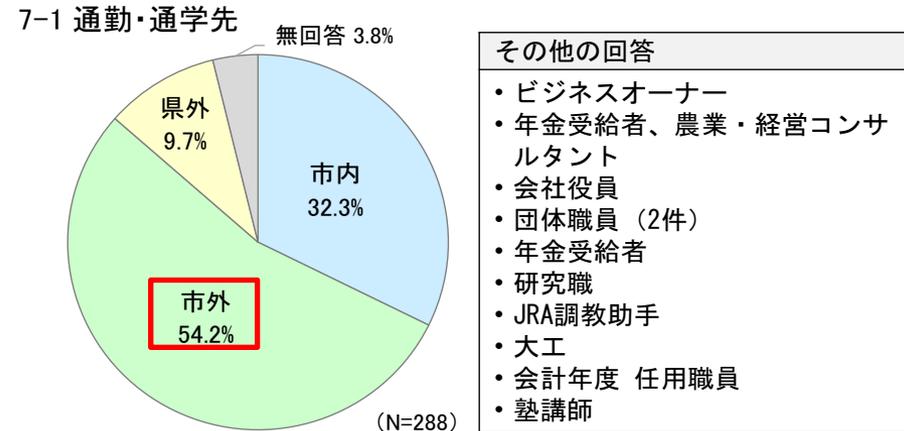
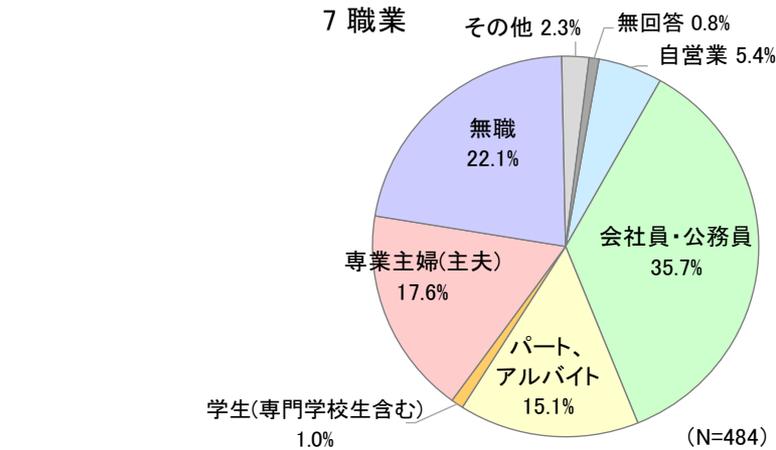
4. 集計結果 ①回答者の属性：居住状況・通勤通学の状況

- 現在の居住地（小学校区別）は、「金勝（8.1%）」が、比較的少ないが、概ね同じ割合となった。
- 現在の居住地での居住年数は、「30年以上（34.3%）」と最も多く、次いで「10年以上30年未満（33.7%）」と、10年以上現在の居住地区に住んでいる人が、全体の約7割（68.0%）を占める。
- 車は、「持っている（90.9%）」が約9割。保有台数は、「1台（44.1%）」が最も多いが、「2台（35.5%）」も3割を超えている。
- 職業の状況は、「会社員・公務員（35.7%）」が多く、次いで「無職（22.1%）」「専業主婦（主夫）（17.6%）」となった。
- 全体の通勤・通学先は、県内の「市外（54.2%）」「市内（32.3%）」で、「県外（9.7%）」は約1割となった。

居住地区・地区居住年数・車保有



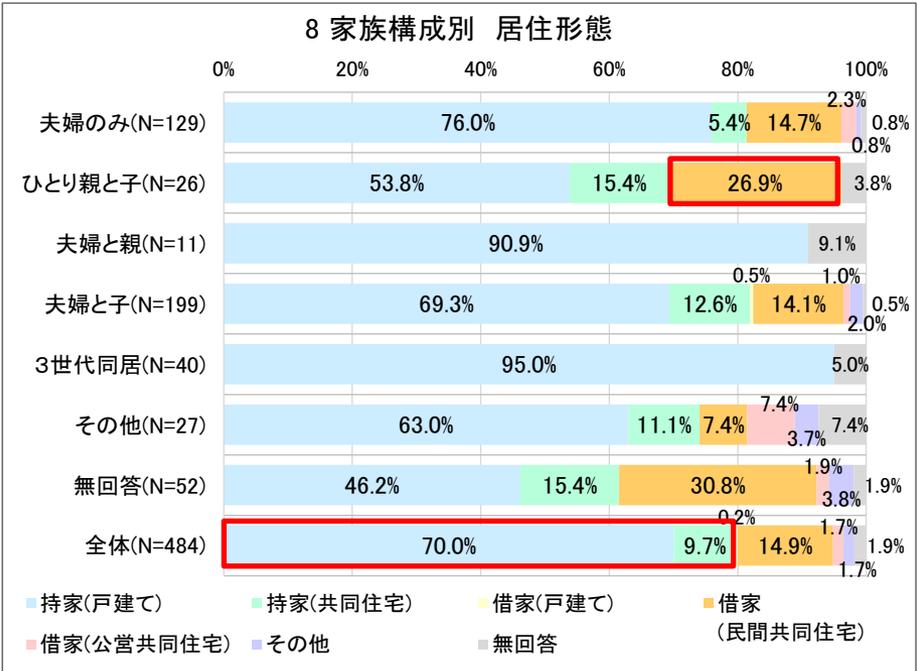
回答者の職業・通勤通学先



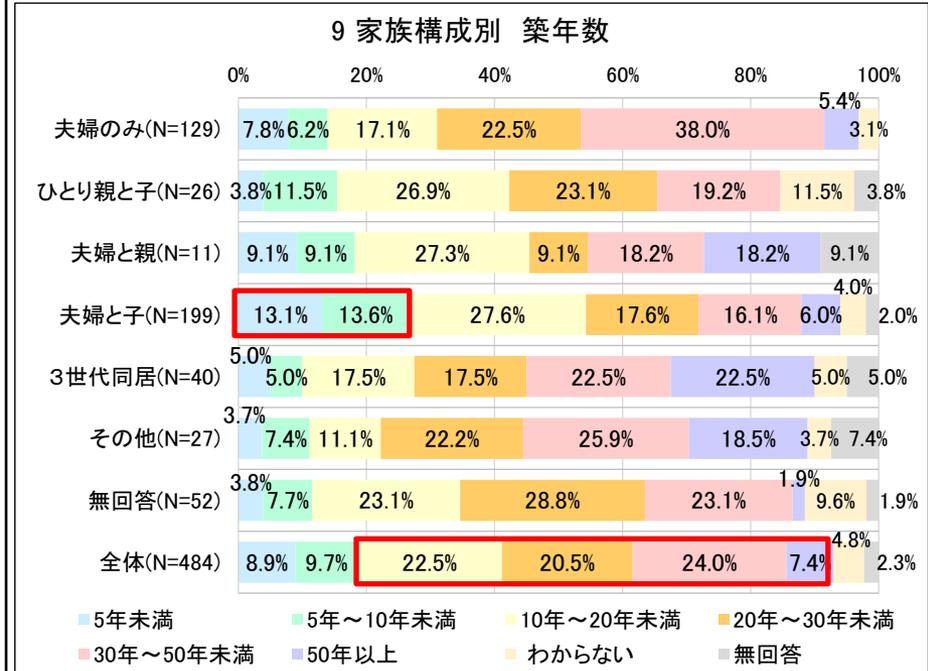
4. 集計結果 ①回答者の属性：居住形態・住宅の建築年数

- 居住形態は、全体では「持家(戸建て) (70.0%)」「持家(共同住宅) (9.7%)」と持家が全体の約8割(79.7%)を占める。
- 家族構成別の居住形態をみると、「ひとり親と子」では「借家(共同住宅) (26.9%)」と借家の割合が高い傾向にある。
- 現在の住宅の建築年数は、全体では「30年～50年未満(24.0%)」が最も多く、次いで「10年～20年未満(22.5%)」「20年～30年未満(20.5%)」と、10年以上現在の居住地区に住んでいる人が、全体の約7割(74.4%)を占める。
- 家族構成別の建築年数をみると、「夫婦と子」世帯で、10年未満の割合が他の家族構成に比べて高く、比較的建築年数が少ない傾向がみられる。

居住形態



住宅の建築年数

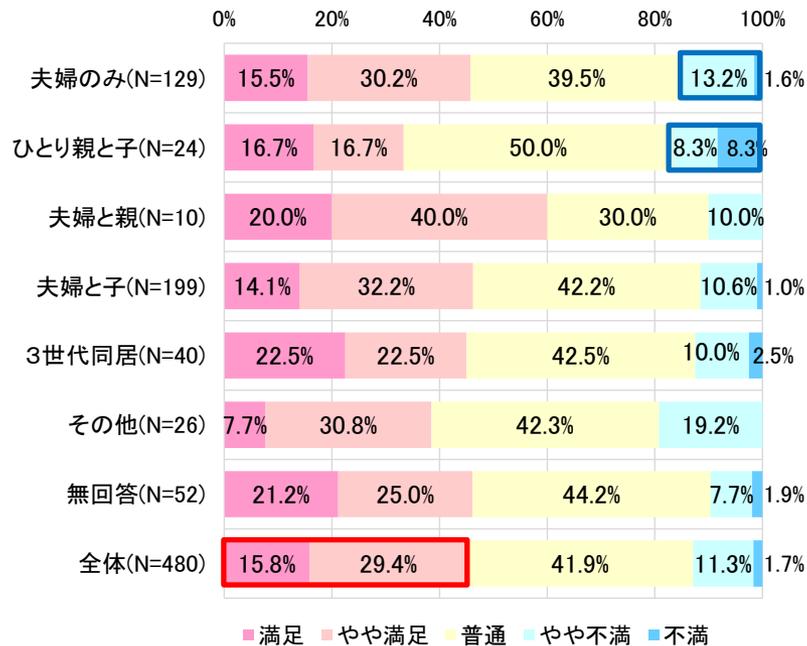


4. 集計結果 ②住まい・周辺環境:住まい(住宅)満足度

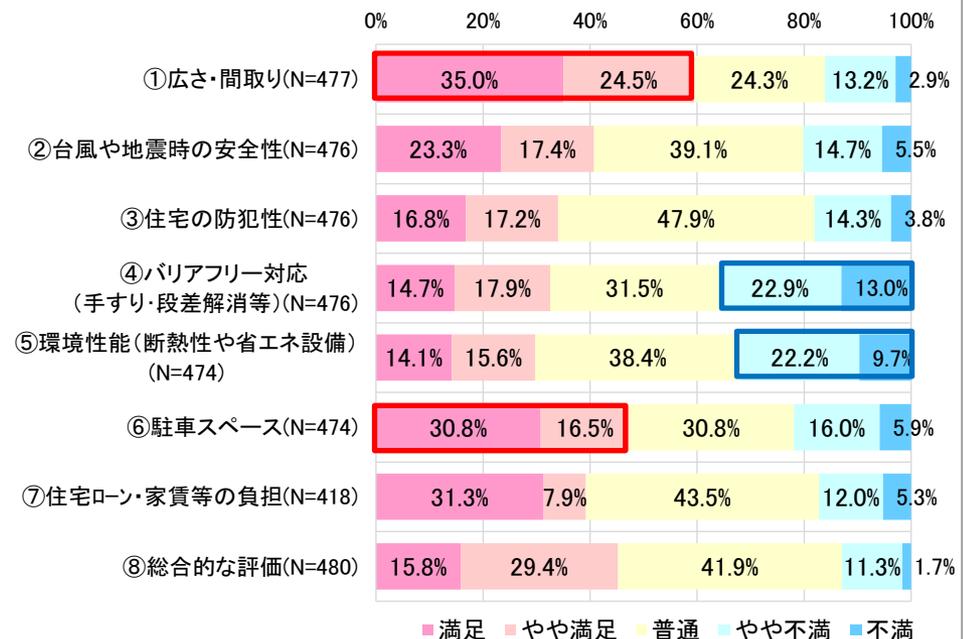
- 現在の住まいに対する「総合的な評価」では、「満足+やや満足(45.2%)」、「普通(41.9%)」、「不満+やや不満(13.0%)」と、全体としては不満率は低いが、「夫婦のみ」「ひとり親と子」世帯では、不満と感じる人が比較的多い傾向となった。
- 評価の項目別にみると、「満足+やや満足」が多いのは、「広さ・間取り(59.5%)」「駐車スペース(47.3%)」で、「不満+やや不満」が多い傾向にあるのは、「バリアフリー対応(手すり・段差解消等)(35.9%)」「環境性能(断熱性や省エネ設備)(31.9%)」となった。
- 住宅の面積的な面に対する満足度は高く、質的な面に対する満足度が低い傾向となった。

お住まい(住宅)に対する満足度【総合評価、評価項目別比較】

⑧ 総合的な評価(住宅)



現在の住まい(住宅)について【全体】

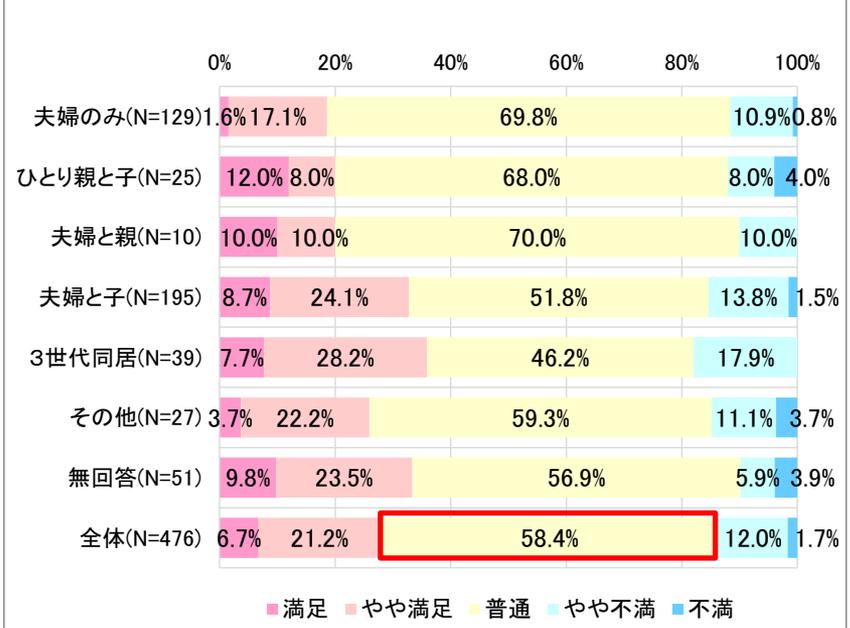


4. 集計結果 ②住まい・周辺環境：周辺環境（住環境）満足度

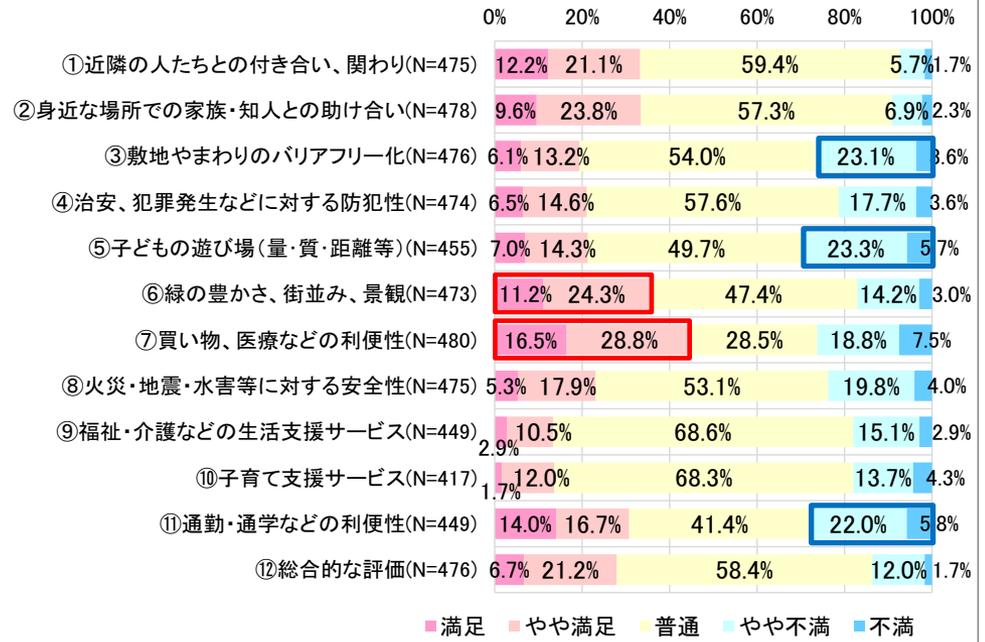
- 住環境に対する「総合的な評価」では、「満足+やや満足(27.9%)」「普通(58.4%)」「不満+やや不満(13.7%)」と、全体としては不満率は低いものの、住宅に対する評価と比較すると、「普通」と評価する割合が高く、満足率は低い傾向にある。
- 評価項目別にみると、「満足+やや満足」が多いのは、「買い物、医療などの利便性(45.3%)」「緑の豊かさ、街並み、景観(35.5%)」で、「不満+やや不満」が多い傾向にあるのは、「子どもの遊び場(29.0%)」「通勤・通学などの利便性(27.8%)」「敷地やまわりのバリアフリー化(26.7%)」となった。
- 住環境では、生活の利便性に対する満足度は高く、生活の安全面や子育て世代支援に係る項目で満足度が低い傾向となった。

周辺環境（住環境）に対する満足度【総合評価、項目別比較】

⑫ 総合的な評価（住環境）



現在の周辺環境（住環境）について【全体】

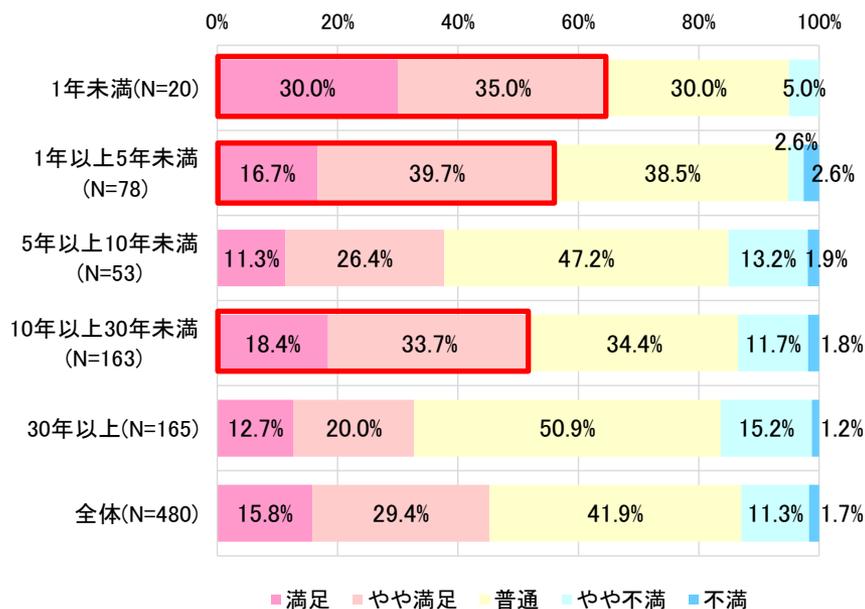


4. 集計結果 ②住まい・周辺環境：周辺環境（住環境）満足度

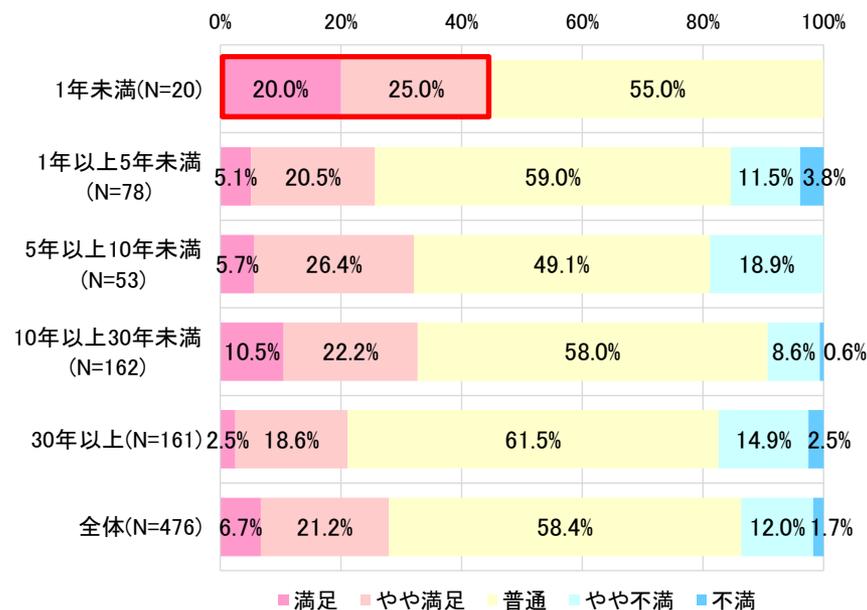
- 住宅、住環境に対する評価を、居住年数別にみると、「1年未満(65.0%)」「1年以上5年未満(56.4%)」「10年以上30年未満(52.1%)」で満足度が高い傾向がある。
- 住宅では、**居住年数が長い方が、不満度が高くなる傾向**がみられるが、居住年数が長くなれば、住宅の老朽化といった問題が発生し始めることも理由にあると推察される。
- また、居住年が1年未満の場合「満足+やや満足(54.0%)」が多く、住宅や居住地を選択してからの期間が短いため、満足度が高く、不満も少ないといった理由も推察される。

居住年数と満足度【総合評価、項目別比較】

現在地区居住年別 ⑧総合的な評価(住宅)



現在地区居住年別 ⑫総合的な評価(住環境)

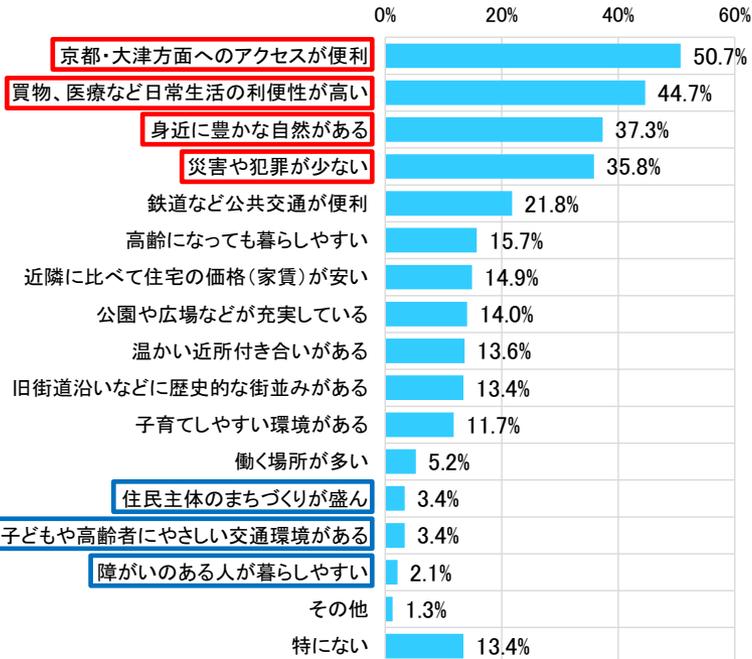


4. 集計結果 ③栗東市らしさ:「住みやすさ」で自慢できるもの

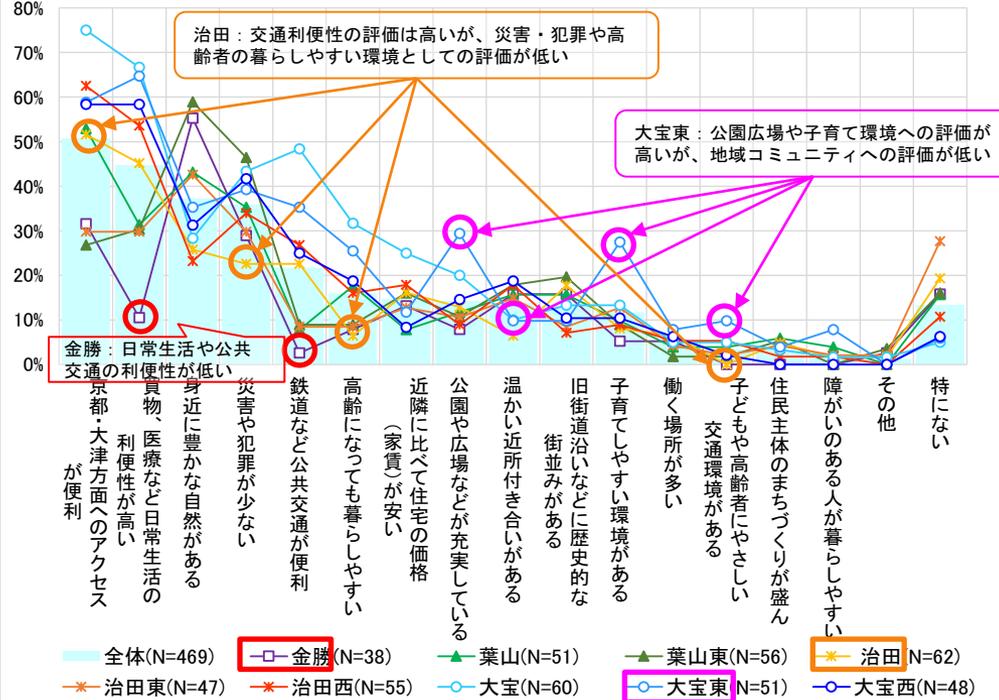
- 「栗東市の住みやすさ」で自慢できる点は、「京都・大津方面へのアクセスが便利(50.7%)」「買物、医療などの日常生活の利便性が高い(44.7%)」「身近に豊かな自然がある(37.3%)」「災害や犯罪が少ない(35.8%)」等、立地や生活の利便性、自然環境が高く評価されている。
- 一方で、「障害のある人が暮らしやすい(2.1%)」「子どもや高齢者にやさしい交通環境がある(3.4%)」「住民主体のまちづくりが盛ん(3.4%)」は少なく、幅広い世代・世帯に対応した居住環境や地域コミュニティの面で対応の検討が必要。
- 全体と比較した地区別の特徴としては、「金勝」で日常生活や公共交通の利便性への評価が低い。

「栗東市の住み良さ」自慢

12「栗東市の住み良さ」の点で自慢できるもの



居住地別 栗東市「住みやすさ」自慢できるもの



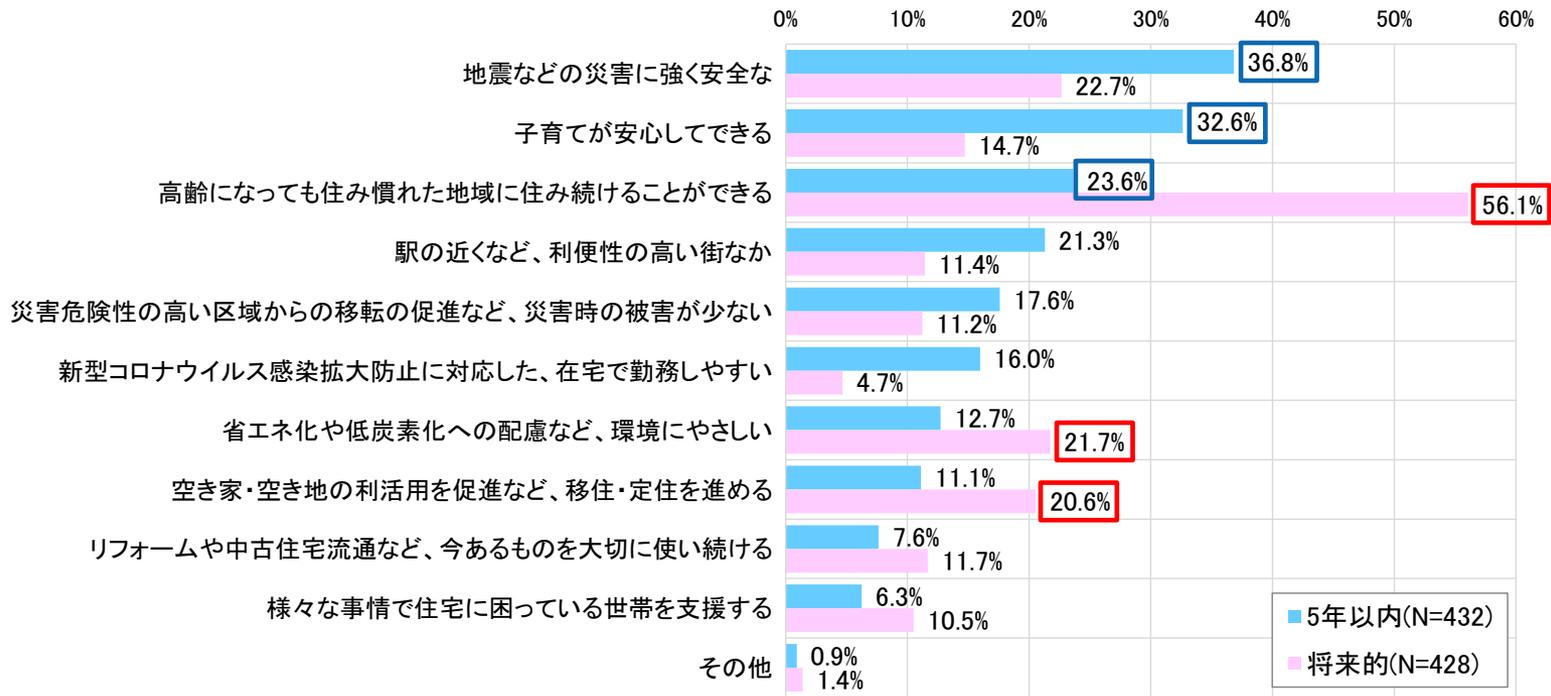
その他の回答

- ・高齢になった時将来、病院、買い物不便(出来ない)現在本人86妻80(自家用車で)巡回バス以外に友人、子、孫に送迎。巡回バス利用者乗っている人1~2名/回
- ・今は私の車があるからOKですが…なくなったら大変です。
- ・自然が豊か 静かな環境で落ち着く。酔っ払いとかややこしい人が少なくて安心。

4. 集計結果 ③栗東市らしさ：住まい・住環境づくりの重視点

- これからの住まい・住環境づくりで重要と考える点は、**短期的(5年以内)**では「地震などの災害に強い安全な(36.8%)」「子育てが安心してできる(32.6%)」「高齢になっても住み慣れた地域に住み続けることができる(23.6%)」が多い。
- 長期的な視点**では、「高齢になっても住み慣れた地域に住み続けることができる(56.1%)」が最も高く。5割を超える。
- また、**長期的視点**では、「省エネ化や低炭素化への配慮など、環境にやさしい(21.7%)」「空き家・空き地の利活用を促進など、移住・定住を進める(20.6%)」といった、**社会的な環境課題や地域全体の課題**に対する視点が高くなる傾向がみられる。

13 住まい・住環境づくりの重要点 【5年以内・将来的の比較】



※短期的(5年以内)の重要点の降順でグラフ化

その他の回答【5年以内】

- ・医療介護の整った住環境整備づくり
- ・道路整備
- ・慢性的な交通渋滞の効果的対策の早期推進

その他の回答【将来的】

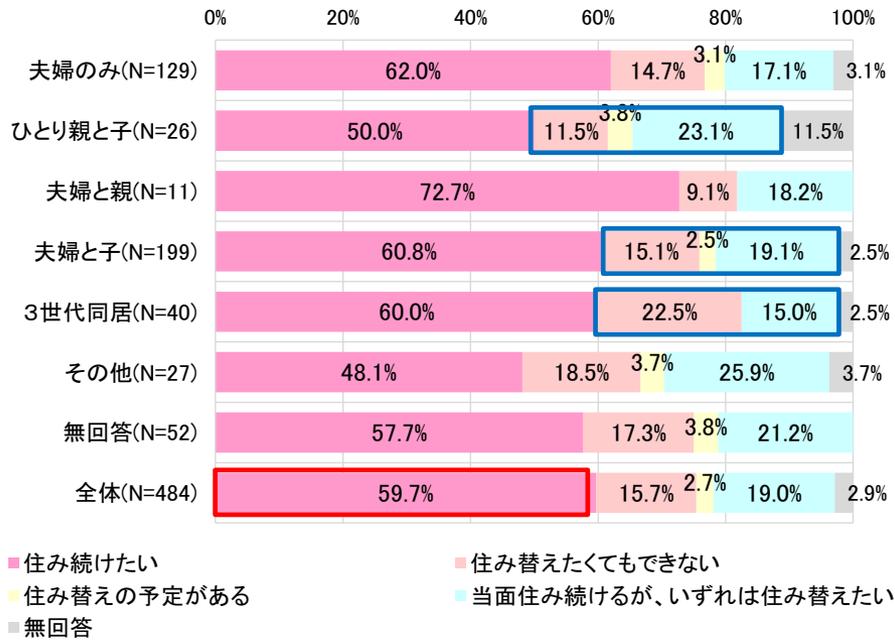
- ・高齢者が車など使わなくてもいい環境づくり（今の栗東は住が多く衣・食の店が少なすぎる
- ・買い物への交通が年々悪くなっている

4. 集計結果 ④定住・転居意向と住み替え

- 定住・転居意向は、全体では「住み続けたい(59.7%)」が最も多く、次いで「いずれは住み替えたい(19.0%)」「住み替えたくてもできない(15.7%)」「住み替え予定がある(2.7%)」となっており、「住み続けたい」という定住意向は高い。
- 家族構成別にみると、その他や無回答を除く「ひとり親と子」以外の世帯で、「住み続けたい」が6割を超えており、比較的、住替え意向が高いのは、「ひとり親と子(38.5%)」「3世帯同居(37.5%)」「夫婦と子(36.7%)」(住み続けたい・無回答を除いた計)である。
- 住み替えたくても住み替えられない理由は、全体では「資金がないから(67.1%)」が最も多く、次いで「雇用や家計の先行きに不安を感じているから(10.5%)」で、全体の約8割(77.6%)と経済的な理由が大きい。

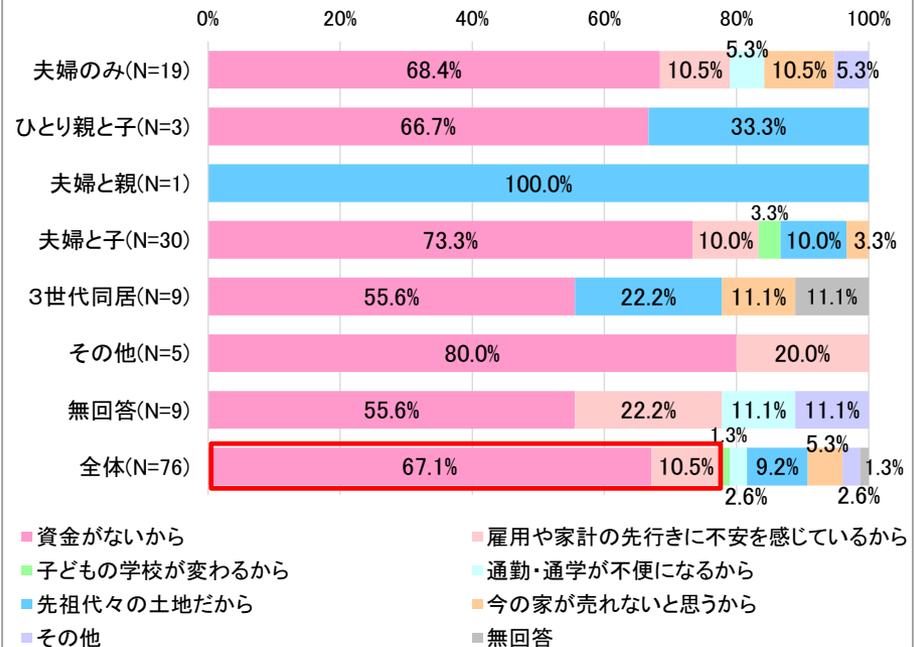
定住・転居意向

4 現在のお住まいの場所に住み続けたいか



住み替えできない理由

4-1 住み替えできない理由



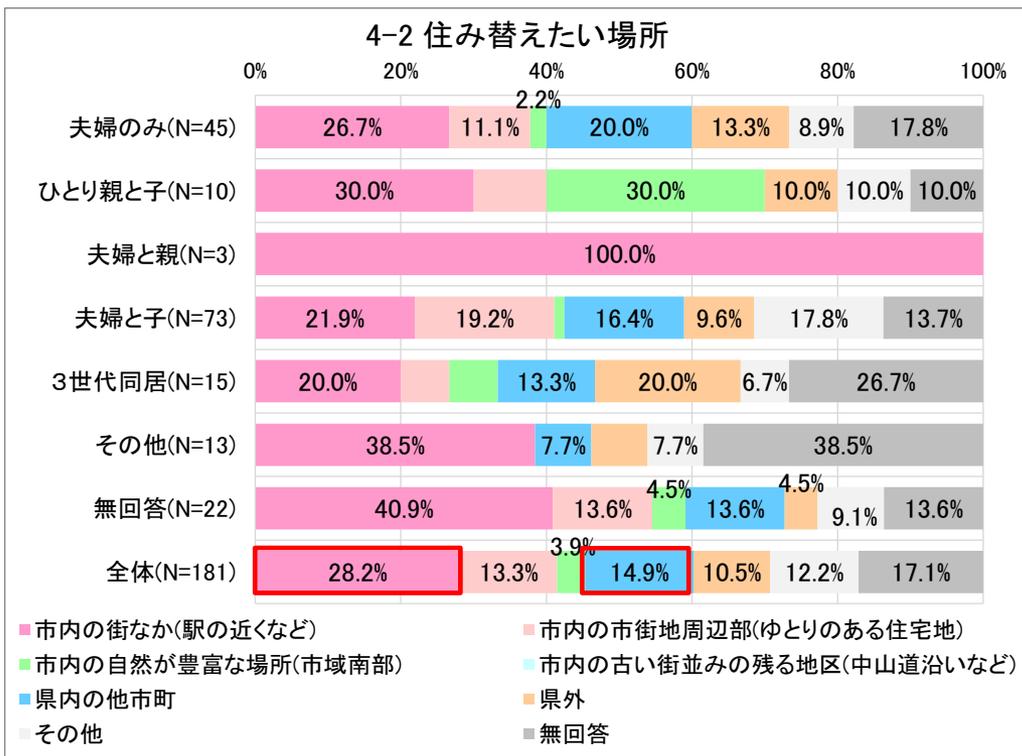
その他の回答

- ・栗東市に適切な賃貸が無いから
- ・年齢が高くなり動けないので
- ・住環境がすばらしい

4. 集計結果 ④定住・転居意向と住み替え

- 住み替えたい場所は、全体では「市内の街なか(28.2%)」が最も多く、次いで「県内の他市町(14.9%)」となった。
- 住み替えたい場所を選択した理由は、アクセスや生活の利便性(22件)、駅の近くや公共交通の利便性(15件)といった、日常生活の利便性をあげる意見が多くみられた。
- 県内他市町で具体的に挙げられたのは、草津市(17件)、守山市(6件)、大津市(3件)、県外では京都府(5件)、大阪府(2件)等である。

住み替えたい場所とその理由



※自由回答の内容から、関連するワードを件数としてカウント

県内	県外
<ul style="list-style-type: none"> 草津市 (17件) 守山市 (6件) 大津市 (3件) 湖南市 医療機関の近い所 自治会活動が楽なところ 	<ul style="list-style-type: none"> 京都府 (5件) 大阪府 (2件) 兵庫県 和歌山県 岡山県 長野県 高知県 未定

4. 集計結果 ⑤住宅や住環境で重視する点

○順位別の状況をみると、優先順位(1位、2位)としては、前項上位となっている「9. 日常の買物、医療施設などの利便性」「1. 地震・台風等の災害に対する安全性」が挙がり、3位では「13. 福祉・介護等の生活サービス」が多く挙げられている。

住宅や住環境で重視する点(順位ごとの結果)

		1位	2位	3位	4位	5位	得票計
住宅	1. 地震・台風等の災害に対する安全性	98	35	38	28	17	216
	2. 空き巣などに対する防犯性	3	21	8	17	23	72
	3. 高齢者や障がいのある人への配慮(段差解消など)	28	22	19	16	17	102
	4. 台所、浴室、空調などの省エネ対応	8	15	14	18	18	73
	5. 住宅の維持や管理のしやすさ	38	24	34	29	30	155
	6. 住宅の断熱性や気密性	4	16	20	10	20	70
周辺環境	7. 火災・地震・水害などに対する安全性	44	50	37	21	21	173
	8. 治安、犯罪発生の防止	15	34	44	53	30	176
	9. 日常の買物、医療施設などの利便性	106	108	68	52	21	355
	10. 周辺道路の歩行時の交通安全性	3	13	27	17	31	91
	11. 敷地や周りのバリアフリー化	2	7	9	8	13	39
	12. まちなみ、景観	7	11	9	18	28	73
その他	13. 福祉・介護等の生活支援サービス	19	24	54	54	42	193
	14. 近隣の人たちや地域との関わり	4	8	15	28	31	86
	15. 子育て支援サービス	11	16	13	11	14	65
	16. 親や子ども、親戚との住宅の距離	9	3	6	8	22	48
	17. 通勤・通学の利便性	37	33	20	39	32	161
	18. 緑・水辺など自然とのふれあい	8	7	10	14	31	70
	19. その他	3	1	1	2		7
無回答		37	36	38	41	43	—
総計		484	484	484	484	484	—

※順位ごとに、最も多い項目にピンク、2位の項目はオレンジ、3位には黄色に網掛け

4. 集計結果 ⑤住宅や住環境で重視する点

- 住宅や住環境の重視点は、総合評価(合計点)で、「日常の買物、医療施設などの利便性(1,291点)」が多く、次いで「地震・台風等の災害に対する安全性(817点)」「火災・地震・水害などに対する安全性(594点)」「福祉・介護等の生活支援サービス(503点)」が上位に挙がっている。
- 住宅を選ぶ際には、日常生活における利便性が最も重視され、次いで、安全・安心して暮らせる住宅・住環境が重視されている。

住宅や住環境で重視する点

15 今後住宅を選ぶ重視する点
総合(1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点の合計点数)



その他の回答

【1位のその他】

- ・ 陽当たり良くて、風通しが良くて、両サイドが2m以上あいていること
- ・ 騒音が少ない家

【2位のその他】

- ・ 近くに店がある(食品)

【3位のその他】

- ・ 駅から近い

【4位のその他】

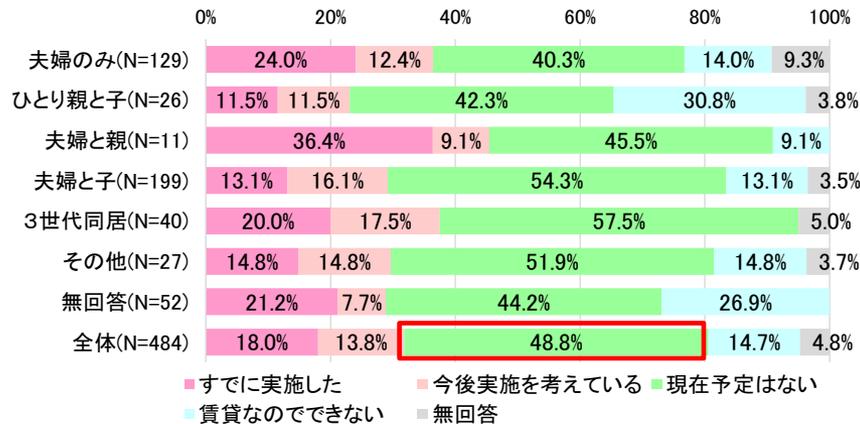
- ・ 生活、趣味を楽しむ易い所
- ・ 自治会・役員等ない住宅

4. 集計結果 ⑥住宅リフォームの予定としない理由

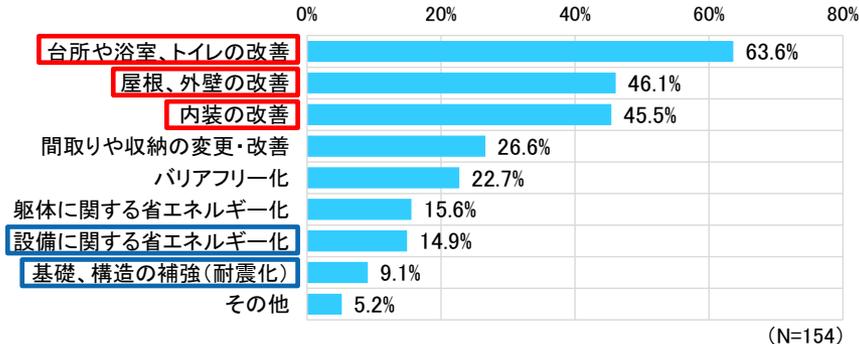
- リフォームは、全体では「現在予定はない(48.8%)」が全体の5割近くを占め、次いで「すでに実施した(18.0%)」「賃貸なのでできない(14.7%)」「今後実施を考えている(13.8%)」であり、リフォーム予定の無い世帯が多い。
- リフォーム内容は、「台所や浴室、トイレの改善(63.6%)」が最も多く、次いで「屋根、外壁の改善(46.1%)」「内装の改善(45.5%)」が多い。一方、「設備に関する省エネルギー化(14.9%)」「基礎、構造の補強(耐震化)(9.1%)」は少ない。
- 予定していない理由は、「今の住まいに満足(44.5%)」が最も多いが、「資金がなくあきらめている(21.2%)」が次に多く、**経済的な理由が多い。**

リフォーム予定とその内容

16 住宅リフォームの予定

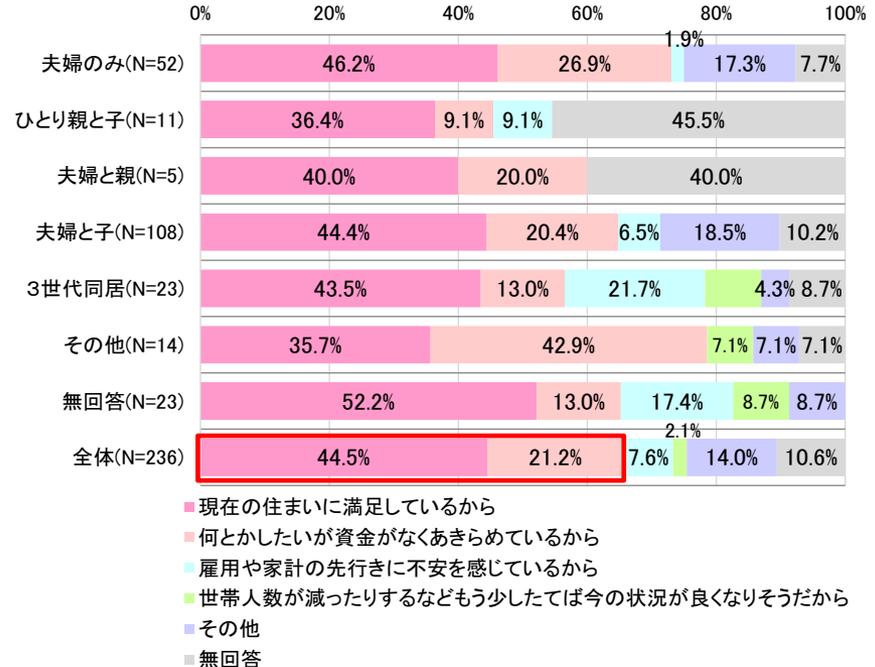


16-1 リフォームの内容



リフォームを予定していない理由

16-2 リフォームを予定していない理由



その他の回答

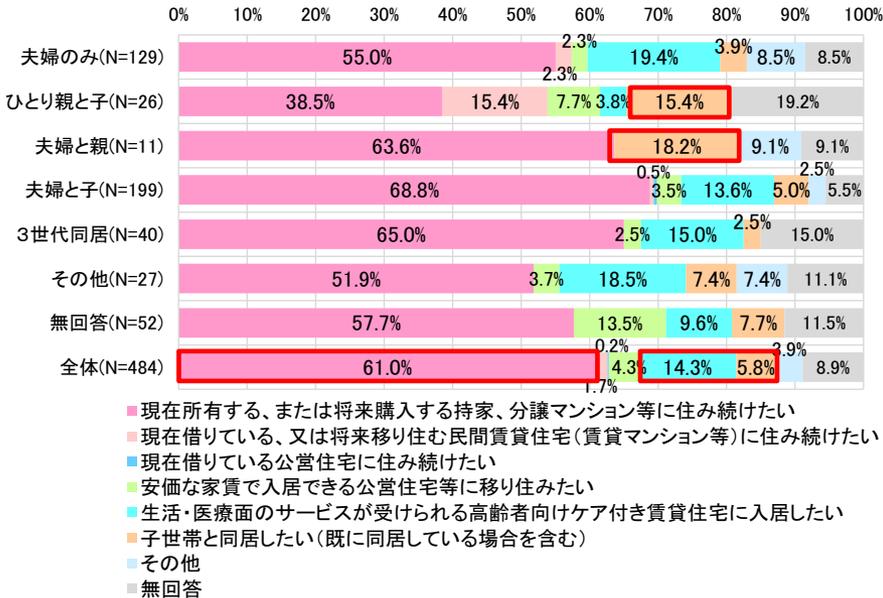
- 必要ではない、特に考えていない (13件)
- 実施済み、まだ新しい (7件)
- 持家ではないから (4件)

4. 集計結果 ⑦高齢期の住まい・住環境

- 高齢期に希望する住まい方は、全体では「現在所有する、または将来購入する持家、分譲マンション等に住みたい(61.0%)」が最も多く全体の6割を超えている。次いで「生活・医療面のサービスが受けられる高齢者向けケア付き賃貸住宅に入居したい(14.3%)」「子世帯と同居したい(既に同居している場合を含む)(5.8%)」となった。
- 家族構成別では「ひとり親と子」「夫婦と親」で「子世帯と同居したい(既に同居している場合を含む)」が多い傾向がある。
- 安心な生活に必要な取り組みは、全体では「住み慣れた地域で生活していくための生活支援・介護サービスの充実(51.7%)」が最も多く、次いで「持家のバリアフリー化に関する助成制度の充実(16.5%)」「生活・医療面のサービスが受けられる高齢者向けケア付き賃貸住宅の整備促進(14.7%)」となった。

希望する住まい方

17 高齢期住まいはどのような住み方

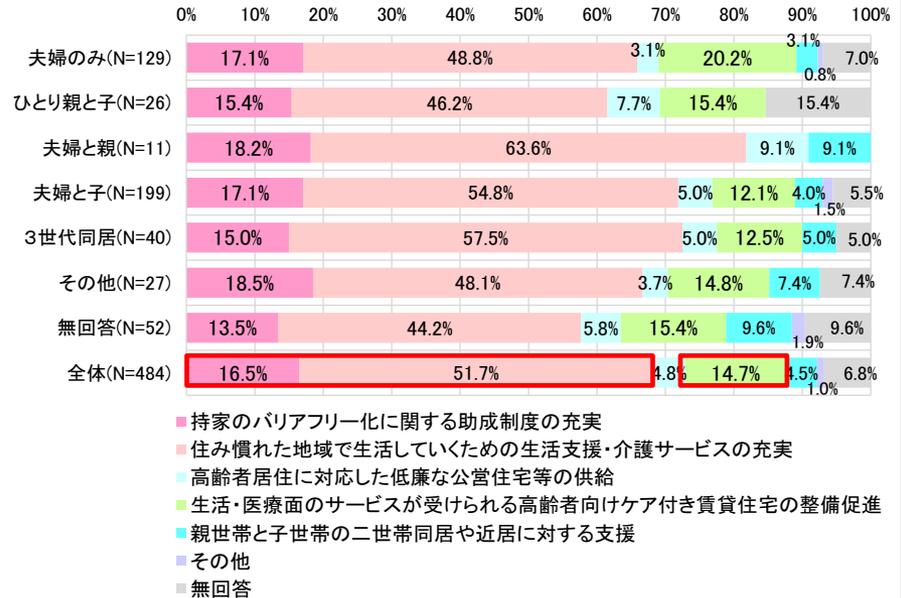


その他の回答

- 今ので良い (3件)
- 両親、子供と同居したい (3件)
- 分からない、考えていない (7件)
- 安価な賃貸に入居したい (2件)
- シルバーマンション+店+公園

安心して生活していくための取り組み

18 高齢者の安心して生活していくための取り組み



その他の回答

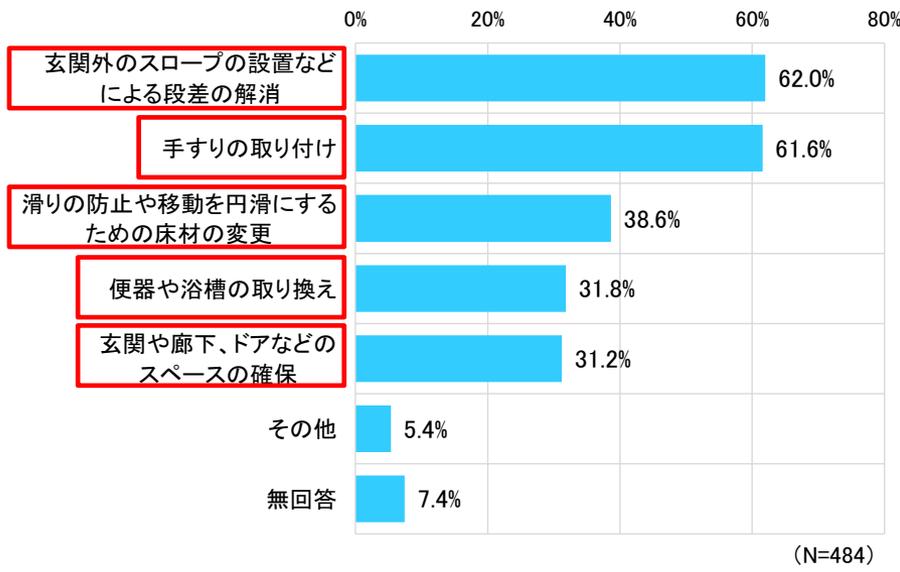
- バスの増便 (上砥山⇄草津)
- 緊急時のホットライン (簡単に助けが呼べる)
- 免許を返納した後のサポート
- 必ずつながる人が1人でもいること
- 低コストサービスが受けられる事 (年金で月々の支払いができる事)

4. 集計結果 ⑦高齢期の住まい・住環境

- 高齢者の安心な生活に必要な性能は、「玄関外のスロープの設置などによる段差の解消(62.0%)」「手すりの取り付け(61.6%)」が多く約6割、次いで「滑りの防止や移動を円滑にするための床材の変更(38.6%)」「便器や浴槽の取り換え(31.8%)」「玄関や廊下、ドアなどのスペースの確保(31.2%)」となった。
- 「その他」の回答としては、バリアフリー、ヒートショック防止等のシステムの整備や見守り、緊急時等のサービス体制の充実が挙げられている。

高齢者に必要な住宅性能

19 高齢者の安心して生活していくために必要な住宅性能



その他の回答

【バリアフリー、ヒートショック防止等のシステム】

- ・SOSボタン
- ・バリアフリー
- ・断熱性や機密性
- ・コンロ等ガスから電化
- ・ヒートショック防止環境、温度差解消
- ・温度差の少ない快適な生活環境
- ・階段のない平屋タイプに住みたい

【見守り、緊急時等のサービス体制】

- ・緊急時の連絡体制
- ・「一人住い」が今後多くなっていくと思いますが、ご近所の人々が常に安否が判るような連絡システムとか、その家の玄関に表示（元気マーク）出来るようなアイデアはないでしょうか？
- ・防犯カメラの様な見守りできる物。高齢者でも簡単に安心な宅配サービスの物。
- ・病院などに即応できるシステム
- ・緊急用ボタン（遠くに住む家族などに知らせる）
- ・玄関に車イスや靴はき替えの為の椅子・歩行器のスペース確保歩行器。
- ・介護ベッドをおいて見守りできるレイアウト。一人暮らしでも緊急時に外部（110番等）連絡できるシステム

【公共交通等、環境整備】

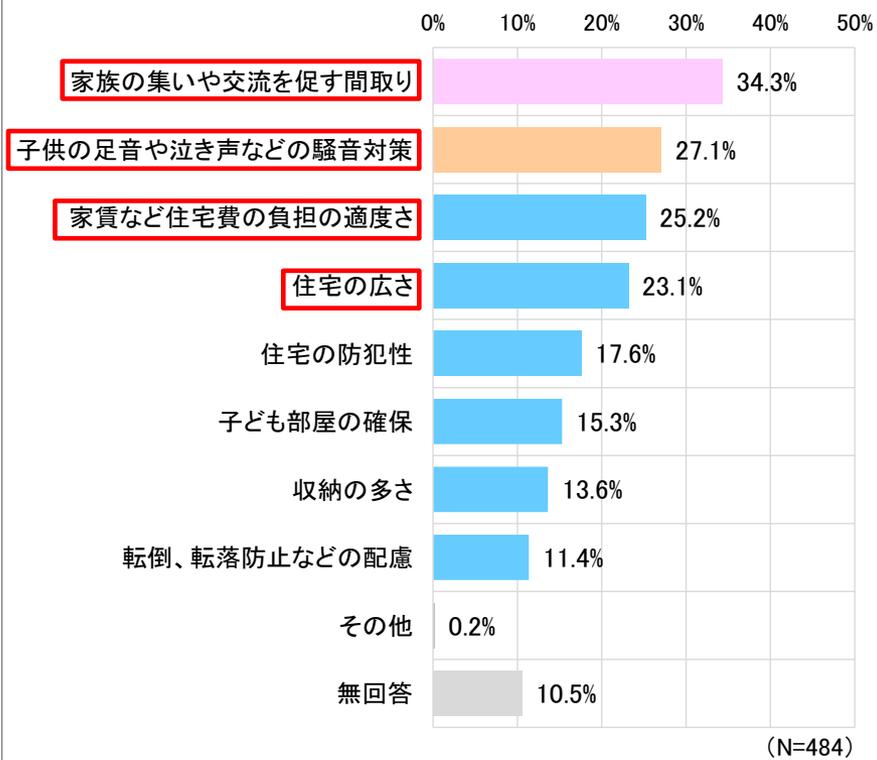
- ・公的移動手段の充実
- ・買い物、通院の手助け。バス利用困難

○子育て世代の住まいにおける重視点は、「**家族の集いや交流を促す間取り (34.3%)**」が最も多く、次いで「**子供の足音や泣き声などの騒音対策 (27.1%)**」「**家賃など住宅費の負担の適度さ (25.2%)**」「**住宅の広さ (23.1%)**」が多い。

○子育て世代の住環境における重視点は、「**子どもの遊び場、公園など (31.8%)**」が最も多く、次いで「**まわりの道路の歩行時の安全性 (23.1%)**」「**幼稚園、小学校などの利便性 (23.1%)**」が多い。

子育て世帯に重要な住まい

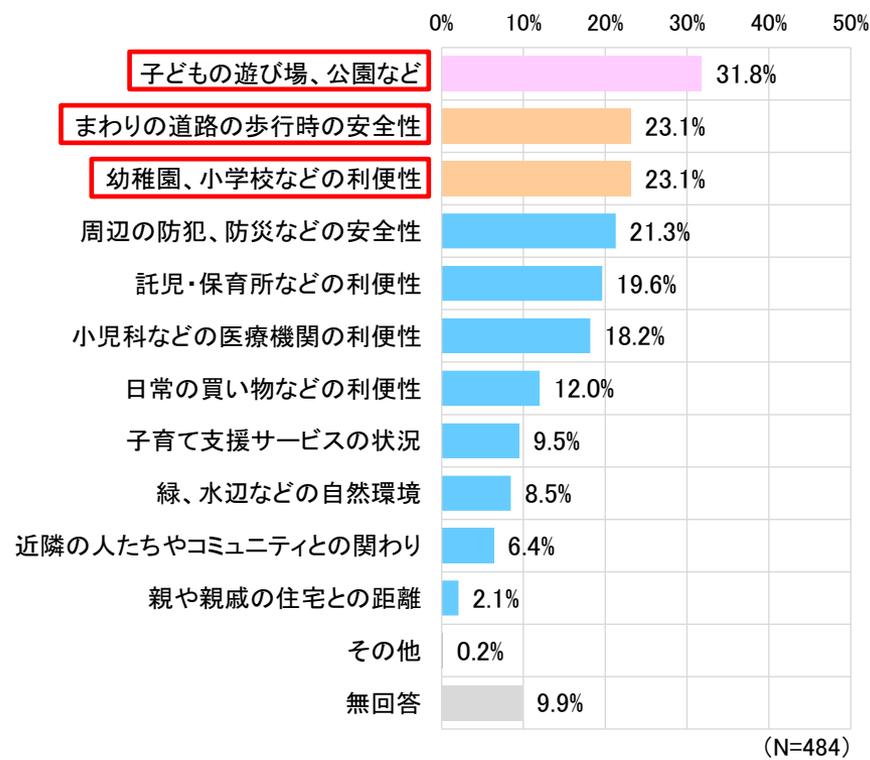
20 子育て世代・住まい(住宅)の重点



※1位ピンク、2位オレンジの着色

子育て世帯に重要な住環境

21 子育て世代・周辺環境(住環境)の重点

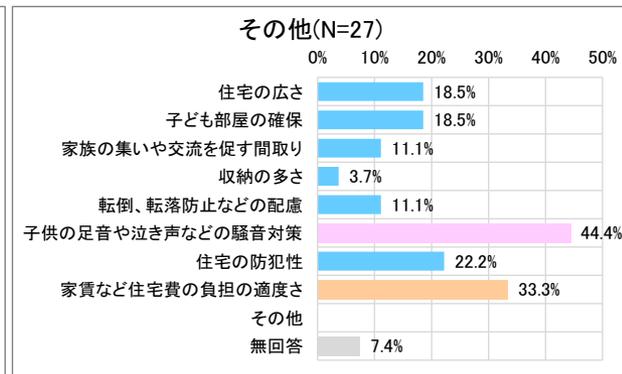
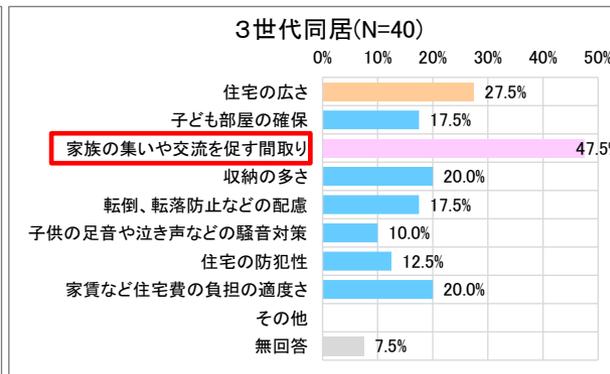
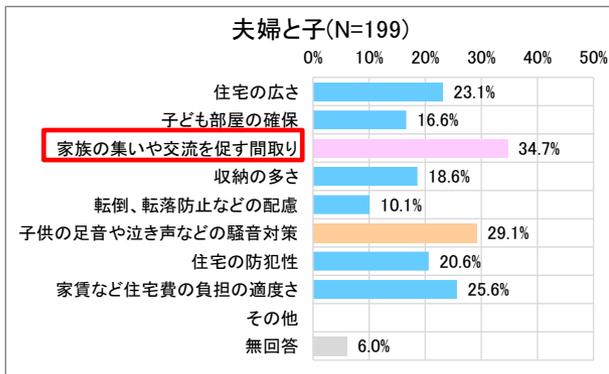
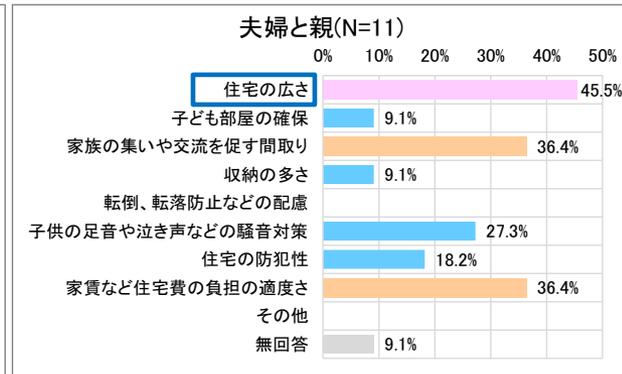
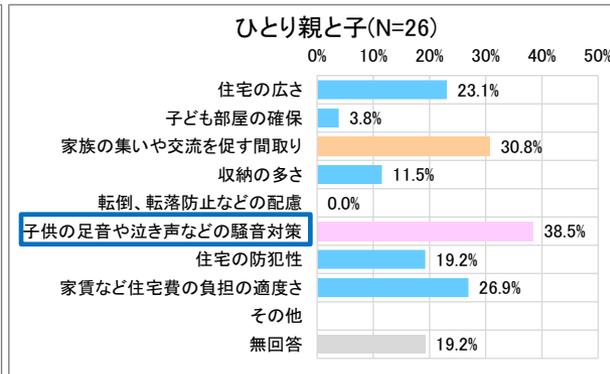
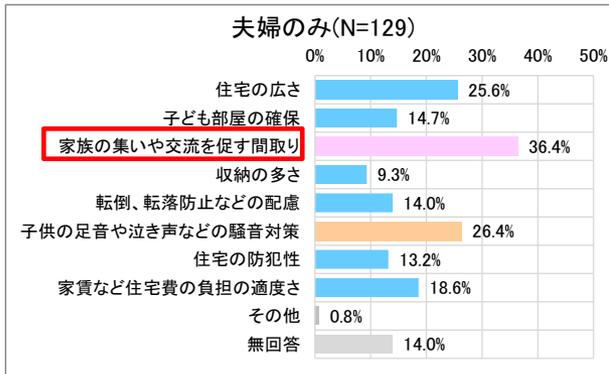


※1位ピンク、2位オレンジの着色

4. 集計結果 ⑧子育て世帯の住まい・住環境

- 子育て世代の住まいにおける重点は、家族構成別にみると、「夫婦のみ(36.4%)」「夫婦と子(34.7%)」「3世代同居(47.5%)」世帯では「**家族の集いや交流を促す間取り**」が最も多くなっている。
- 「ひとり親と子」世帯では「**子供の足音や泣き声などの騒音対策(38.5%)**」が最も多く、「夫婦と親」世帯では「**住宅の広さ(45.5%)**」が最も多くなっている。

子育て世帯に重要な住まい(家族構成別)



※1位ピンク、2位オレンジの着色

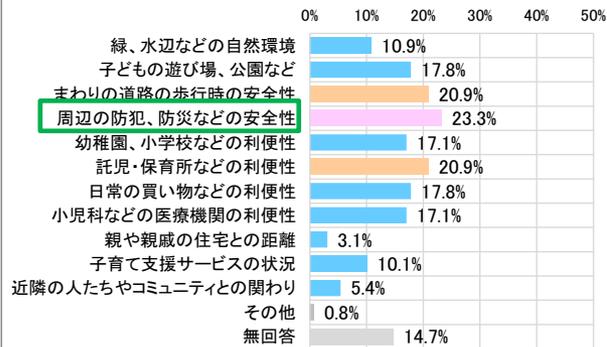
4. 集計結果 ⑧子育て世帯の住まい・住環境

○子育て世代に重要な住環境について、家族構成別にみると、「ひとり親と子(30.8%)」と「3世代同居(37.5%)」世帯で「幼稚園、小学校などの利便性」が最も多く、「夫婦と親(45.5%)」「夫婦と子(45.2%)」世帯では、「子どもの遊び場、公園など」が最も多くなっている。

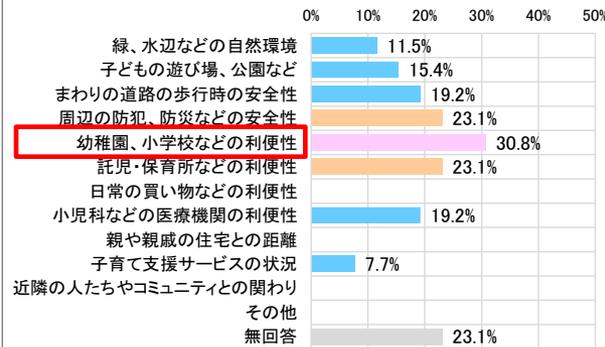
○「夫婦のみ」世帯では、「周辺の防犯、防災などの安全性(23.3%)」が最も多くなっている。

子育て世帯に重要な住環境(家族構成別)

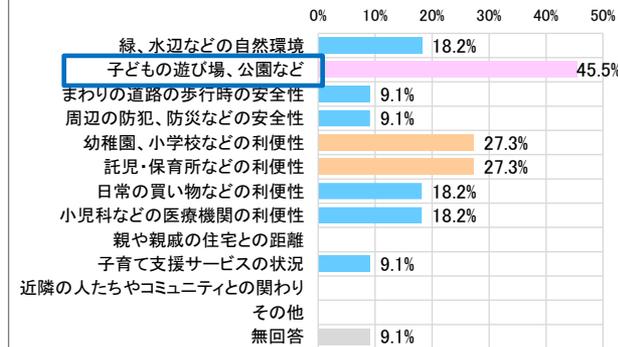
夫婦のみ(N=129)



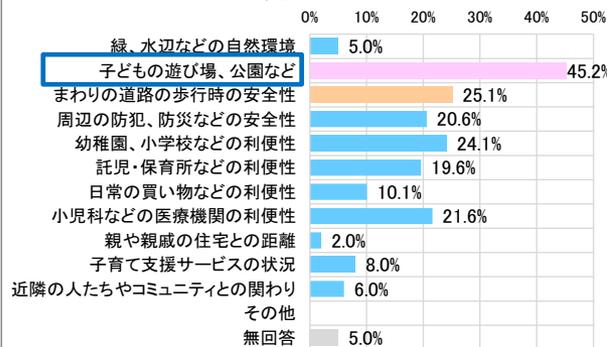
ひとり親と子(N=26)



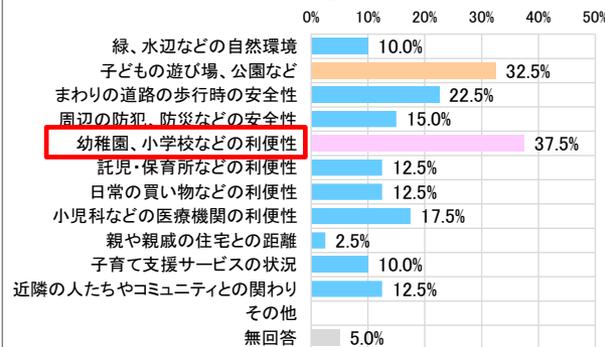
夫婦と親(N=11)



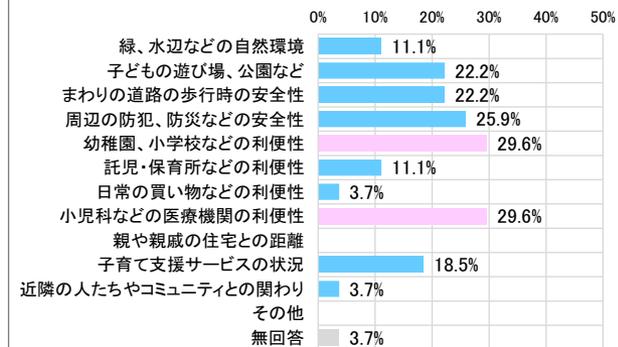
夫婦と子(N=199)



3世代同居(N=40)



その他(N=27)

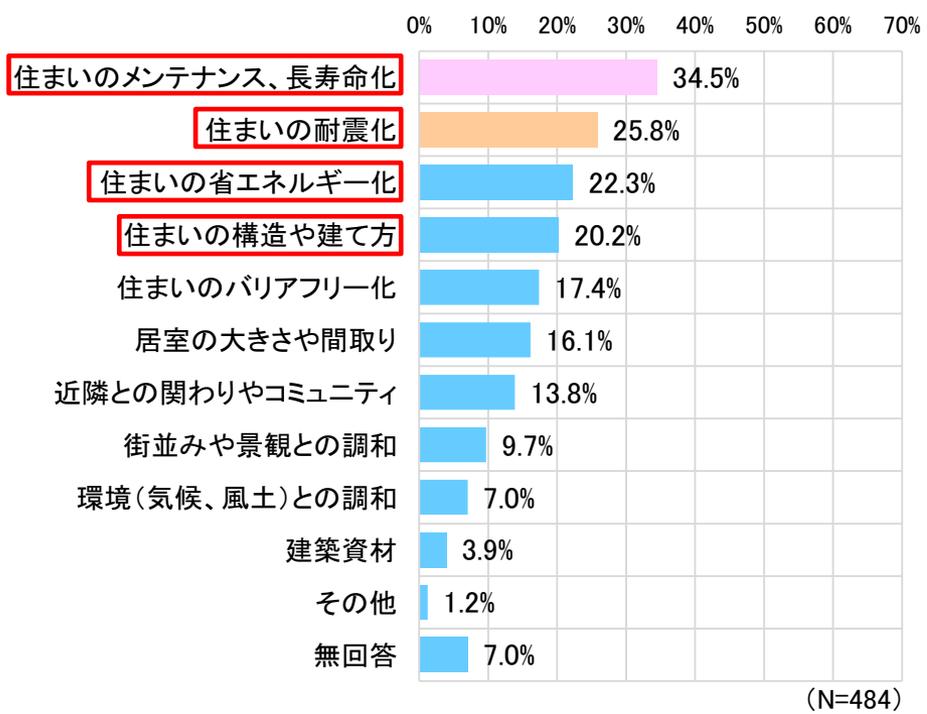


※1位ピンク、2位オレンジの着色

○住まい・暮らし情報への関心度は、「住まいのメンテナンス、長寿命化(34.5%)」が最も多く、次いで「住まいの耐震化(25.8%)」「住まいの省エネルギー化(22.3%)」「住まいの構造や建て方(20.2%)」といった情報への関心が高い。

住まい・暮らし情報への関心

22 住まいと暮らしに関する情報で関心のあること



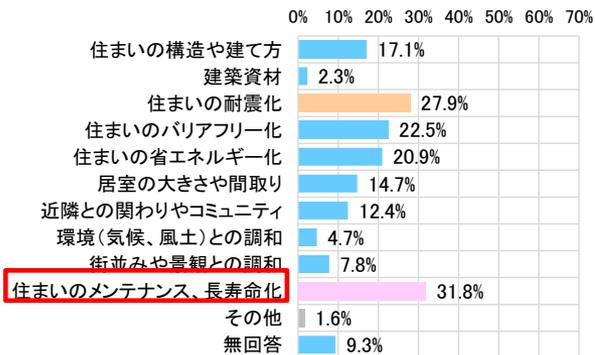
- その他の回答
- ・ 高齢者にやさしい環境作り
 - ・ 今のままでよい
 - ・ 自分の居住エリア近隣のイベントや飲食店など、楽しく暮らすための情報
 - ・ 防音、ネット環境
 - ・ 騒音対策

※1位ピンク、2位オレンジの着色

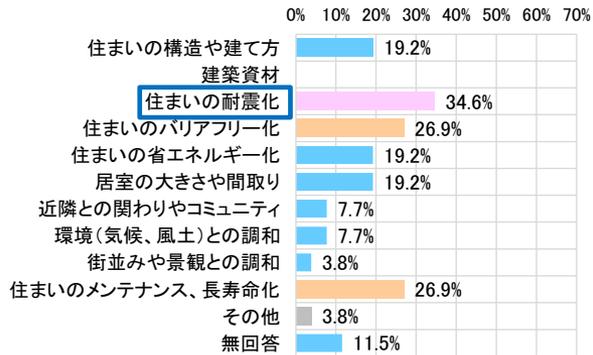
- 住まい・暮らし情報への関心度について、家族構成別にみると「ひとり親と子」世帯以外では「**住まいのメンテナンス、長寿命化**」が最も多くなっている。
- 「ひとり親と子」世帯では「**住まいの耐震化(34.6%)**」が最も多くなっている。

住まい・暮らし情報への関心(家族構成別)

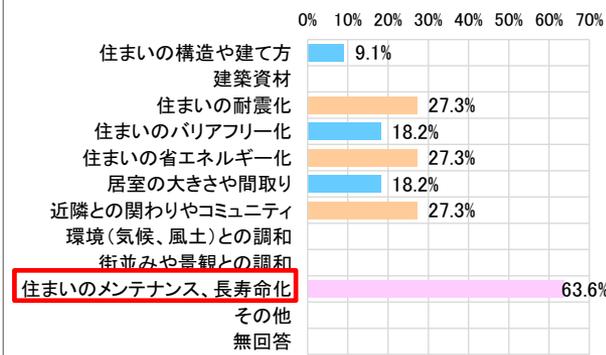
夫婦のみ(N=129)



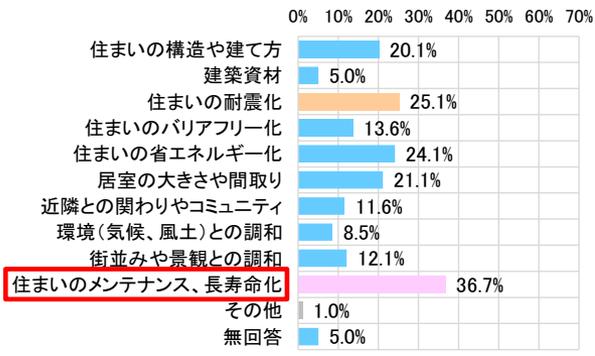
ひとり親と子(N=26)



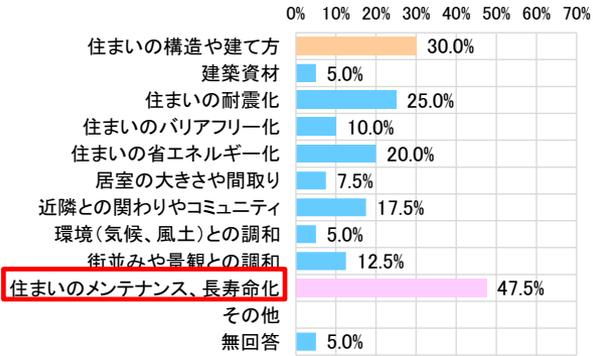
夫婦と親(N=11)



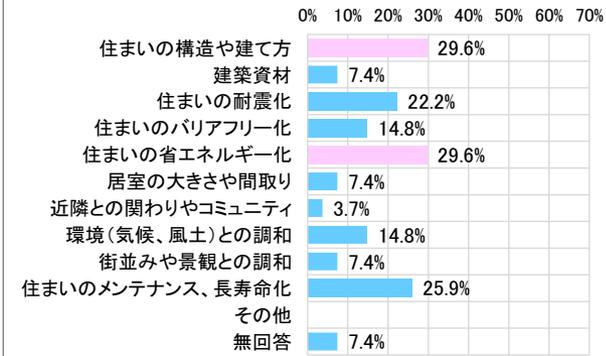
夫婦と子(N=199)



3世代同居(N=40)



その他(N=27)



※1位ピンク、2位オレンジの着色

4. 集計結果 ⑩魅力ある住まいづくり【自由回答】

○128件の提案があり、「道路交通や公共交通(38件)」「子育て・高齢者等、福祉・公共サービス(28件)」等の意見が多く寄せられた。

128件

38件

道路交通・公共交通

・自家用車のない家庭は不便である ・絵等学習する場所がない ・河川がきたない ・ごみがたまって、あまりばなし ・ボランティア活動をもっと活発にやるべきだ ・川底の空カンを除去する方法を考える

40年住んでいます。若い時は自治会の役員は協力していっしょうけんめいやってきました。3回まわって次回4回目になると高齢になっているため、集まりに行くのが困難になります。自治会は脱会したくないし、どのようにしていけばいいか考えています。高齢者の自治会はみんなさうだと思えます。巡回バスも時間的にあまりないし、いつでもサッとってくれる安値のタクシーがあれば幸いです。

駅の周りに緑が多く住みやすいです。若い人が増えて活気があると想います。しかし、西口から東口への道路が細く危険。又、西口から琵琶湖側への道が新中山道から先、細く交通量がどんどん増えてきているのに対策されていないです。おうみ住宅開発の時にセットバックせず、道が細すぎます。もっと先に道路計画しっかりしてほしいです。

街路樹の面倒がみられないのなら切って欲しい。歩道に雑草が生えすぎ、街灯も車道を照らして歩道がまっ暗、車道ラインも消えかかっている。歩道がガタガタで雨が降れば、水たまりで歩きにくい。

市内のバス路線の充実

自家用車をなくした場合の公的機関や病院、買い物等今の遠回りしすぎるバスでは利用できない。利用できる本数も少なすぎる。

手原～石部間に新駅誘致

小●●に住まいがしますが交通が不便 又、栗東駅にタクシーもとまっていない 何とかして下さい！！

新快速を止めてほしい!!

道路が狭い。(昔からの道だから仕方がないけれど…)バスの利便が良かったら今後自車に乗らなくても良いのに…

隣市である守山市が色々な面で良く見えます。道路の広さ、公共施設(図書館等)も充実しているので参考にしたい

歩行者用道路がガタガタで、栗東に引越して来いまだにそのまま、ペーパークーおしてる時もおしくいので、なおしてほしい。

国道に出る道が混むのを解消してほしい

・人口が増えているのに駅が少なすぎる。林に無人駅つくってほしい。
・コミュニティバスの本数が少ない。・大学、専門学校をぜひ作ってほしい。

車で走っていて歩行者用のスペースがとても狭い道があります。道づくりについても改善した方がよい場所をお願いしたいです。

コミュニティバスの本数、行先のバリエーションを増やす。

バスの利便性を考えてほしい

栗東駅周辺でコンパクトシティ化が進めば高齢になっても栗東市に住み続けたいと思う。今ある施設を無駄にしない事も必要かと思うので上手くバランスを取りつつ住民サービスが向上して欲しい。(特に駅から済生会病院へのアクセスが悪いのでくりちゃんバス等を活用して増便して欲しい)

最新のバスターミナル迄の交通機関の整備。バスが少ない。葉山学区は特に不便

新幹線ができると思ったのにできないし、コストコができると思ったのにできないし、もっと大型で便利なものをうちてきてほしい。いつまでも田舎のまま残念。

川が近いので心配、スーパー・コンビニまで1kmある。1号バイパス小野ランプ以降、延伸で発展しすぎないか心配。
小野ランプ以降延伸により上砥山ランプ周辺がどうなるのか。スーパーコンビニまで1km、もっと近くに欲しい。スーパーが独占で高い。いつもありがとうございます。

道路のでこぼこをなんとかしていただきたい。自転車でも困る。今まで何か所か街の住み替えしたがこのような道路の街は初めてです。空き家活用などやり方が中途半端に見えます。くりちゃんバスが使用しにくい。

日常車をよく利用していますが、道路のガードレール周辺の雑草が除草されておらず、対向車とすれちがう時に車によく当たり安全に運転ができない。(金勝川周辺道路)安全運転ができる道路整備をお願いしたい。

歩道が少なすぎる。せつかくあつてもガタガタでペーパークーが押しにくい。子供やお年寄りが転びやすい。直して欲しい。

良い点:子育て世代には非常に住みやすく、特に支援サービスが充実していて満足している。 悪い点:道路事情が非常に悪く、交通量の多い所でも歩道が狭かったりしてとても危ない。行き止まりになっているところも多く、車がバックで致し方なく出ていく所を何度も見ている。明らかに他市と比べて改善意識が低いようにも感じる。

金勝の地域は自然があり住みやすいと考える車がのれなければ一転住みにくい街となる。せめて手原STへの交通手段の利便性を考える必要有。そのためにもバス会社がビジネス出来るだけの人口増加施策が必要である。又安心して家のあとがつける環境も必要である

高齢者が元住みやすい町にすべき、もっとバスの本数をふやして高齢者の移動手段を増やさないと人口減少や空き家増加につながる。高齢者のあつまる町にしてほしい。

金勝川～草津川へのバイパス道路の整備(通勤時、夕方の道路渋滞が多い)

4. 集計結果 ⑩魅力ある住まいづくり【自由回答】

道路交通・公共交通(続き)

道路の渋滞解消・緩和対策が必要

栗東市は特に道路面の整備が遅れていると思います。住宅へのアクセス、住宅内の道幅、安全性を考えても不備な所が多いです。

そこそこ田舎そこそこ都会で、交通、買い物等、そこそこ便利で、自然と調和した街づくり、不便では困ります。

バスの運行をもう少し増やしてほしい。

くりちゃんBUSの利用率を高めるため、利用者目線で経路をわかりやすく(バス停の表示板など)と、市内の端々までバスを循環させてほしいです。

歩道を整備。自然を大切に。

栗東産木材を使用した、住宅の推進や補助。コミュニティバスの充実。他市との連携。子育て、学校(出庭の子どもが立入が丘小学校へ通学出来る。守山市伊勢町の子どもが大宝東小学校へ通学出来るなど)

狭い道路の整備、車と歩行者が安心して通れるように市全体の道路の見直し

歩道の充実性、安全性(信号機取付け)。この環境が良いので大型施設(コストコ等)は作らないで欲しいです。

バスも本数が少なく、利用したいのにできなかったりしています。子供の遊べる所がありませんように感じます。

子育て・高齢者等、福祉・公共サービス

28件

1. 子育てしやすい街

2. 高齢者にやさしい街

この二つをテーマとした街づくりを徹底され、日本一住みやすい「栗東」を全国に第1位ランクに位置づけしてほしい!!!人口倍増計画

介護に係る事項のリース等の充実を計ってほしい住民の団結の為市民への福祉や補助を厚くしてほしい

住み始めた時は、駅前が活気がないことが少し不満でしたが、よそから帰ってきた際に今ではホッとします。派手さはないけど安心して暮らせる街だと思います。それでも、空き家を活用してコワーキングスペースを使ったり、そこでイベントしたり個々のつながりももてるような空間がもっと増えたらいいかなあとと思います。未来のために若い世代の支援にも力を入れてほしい。それこそ若者(子育て世代)の元気パワーが発揮できるような!

相続税が減税になるか持っている財産次第でなしになるので、別居していた息子達も同居になり年老いた親を見てくれて、介護福祉の助けにもなり空き家防止にもなると思う

草津市におけるなごみの郷、ロクハ荘のような施設が栗東市にはない。これらの施設があればシニア世代にはよいと思います。

他の市町村でも取り組んでいる、地域猫の活動を実施してほしい。住みやすくて暖かい町、栗東として殺処分ゼロを目指すなど。保健所や保護センターの活動にも力をいれたい。市民も協力します。

他の市内に比べてサービス拡充が遅れている気がするので学んで欲しい

町の掲示板に、子供逃げ場所、相談など、大人の心の相談等利用出来るようにしてほしい。

老人が増えていく中で大きな医療病院などがもう少しあっても良いかと想います。

保育園の待機児童問題を解消してほしい

高校からの支援がないので子育て支援してほしい。高校からがお金かかる。

異常気象による災害が増えています。災害による被害が予想される地域に弱者(高齢者や子供)が住み続けなくていいように、制度を作ってもらいたいです。

公共サービスをもっと分かりやすい形で広報して頂けたらありがたいです。

子育てをするにはとても良い環境だったので、その魅力はおおいに発信すべきだと思います。こんなに児童館や公園がたくさんある場所もそう無いと思うので、実際、県外にすむ家族にもうらやましいと言われたくらいです。

自然と調和した都市かをしてほしい。高齢者でも便利かつ日々の暮らしにとけ込む自然があるまちづくり。高齢者が若年層と気軽にふれあえる住環境が良い。

自然豊かで広々とした栗東市は住み易い街だと思います。しかしそれは車で移動できてこそのこと。高齢になって免許を返納すると住んでいられなくなるような所がたくさんある様に思われます。タクシーを呼んでも1時間も待たないといけなかったりでは…なんとかならないのでしょうか?

税金が高い割に他の市より福利厚生が劣っている。無駄使いはやめて欲しい。

働きたい人が働けるように、保育園の充実、若者が住みやすい街

夫婦とも、実家は草津、職場は大津、草津ですが、栗東市はとても住みやすいと思います。草津市のように高層マンションの乱立をしないよう防いでほしい。戸建ての促進、利便性の良いところへの市営住宅の建設、高齢者や障がい者の優先配慮など。子育て世帯高齢者世帯へのサービスの拡充につとめ、栗東市に持ち家(マンション可)をもたせるようにして人を定住させ、税金等の確保をする

以前は栗東市は福祉や子育て支援をいち早く実行して自慢の町とほこりに思っておりましたが、いつからか守山の町が今一番すみよい町との事で移った子供さんを育てている方々によく聞かされました。

バス無料券の配布(高齢者向)

4. 集計結果 ⑩魅力ある住まいづくり【自由回答】

子育て・高齢者等、福祉・公共サービス(続き)

以前は住みよい町にも選ばれるような町でしたが、今は福祉が後退しているように感じます。人手や施設が不足しているのでしょうか。。。? 弱い立場の人を大切に出来る町になるとうれしいです。

高齢者に対し、銀行はリフォームローンを貸さない。そのために行政にて対応してもらいたい。独居老人の切実な要望です。

待機児童の低減

子供の習い事の教室がもっと充実してほしい。保育園と提携してくれたら働きながらでも通わせることができる。大阪から引越してきた者として、そのへんの子供の教育に対する選択肢が少ないことが非常に残念でやはり田舎だと思う。ただ自然多いというのは都会にはない大きなメリットなのは間違いないです。

県内の中でも特に栗東市は保育所に入りにくい現状があると感じます。小規模保育園(2才までは増えてきてますが、3才以降利用できる園が少ないため、2人目を産むのを悩んでしまいます。2人目を産むと上の子が3才より上になってしまつて園に入れない状況になりかねないため、安心して出産・子育てができるように、保育園を充実させてほしいです。

一にも二にも子育て世代の方達が住みやすい住環境が必要と思います。

生ゴミを自宅で処理できるよう、ダンボールコンポストの普及を支援して下さると、ゴミ処理に使われている税金をよりよく生かせるのではないかと思います。多くの意見をきかれていると思いますが、保育所が足りずに待機児童が大変多いです。育休中でも途中退園させられてしまうので年度末までは退園されないよう園をふやしてほしい。

自然、景観、公園・広場

19件

住宅街の中では、子供が遊ぶ環境がないように思います。身近にある程度の広さのある公園がほしいと思います。自転車の乗る練習ができる程の、子育てのしやすい街がいいです。

小規模な公園はたくさんあるが、草津(de愛ひろば)や守山(地球市民の森)みたいな公園がもう少し欲しい。

草津市の「de愛ひろば」のような緑の多い公園とカフェの施設を作してほしいです

近くに公園がないので遊ばせる場所に困る。お店ばかりふえて、子供が安心して遊べる公園がないのが不満。

公園を増やしてほしい(子どもと遊ぶため)

公園の遊具の老朽化が気になります。

わりとコンパクトに、私の住む駅前エリアと、金勝や自然観察の森などの自然あふれるエリアがあることが住みやすさや環境のよさではないかと思ひます。地元ならではの祭りや行事が私たちのような通勤族にはわからないので、もっと知らせて頂けると、より長く住みたい町になるかと思ひます。

駅前の景観が悪すぎる。草が伸びっぱなし、栗東に転入した頃はきれいだったのに……

子育てしていると、公園の広さとか気になります。ゆっくり遊べる広くて、水道等使える公園が増えて欲しい。

子育て世代が増えていると感じます。自身もそうです。自然が魅力だと思います。近隣に公園がたくさんあり助かっています。公園の整備、河川の周りを安全に整備してもらうなどすると、栗東市の良さをアピールできると思ひます。

限りある空間において、整理(要る物、要らない物を分けて要らない物は捨てる)。整頓(要る物がいつでも取り出せるようにしておく)の単純な作業を繰り返す事で、常に美しく魅力的な空間が保たれる。これは、上記の魅力ある住まいや住環境づくりにあてはまるのではないかと思ひます。

市内には公園が極端に少ない。私共は守山市の石田町にある公園によく行きます。夏場も木々が茂り、木陰も涼しく、遊歩道も完備され大人から子供まで楽しんでいる。市内を見ると自然環境が悪く、危険がいっぱい。

もう少し、市内所々に花のある場所

1マンション管理組合の役員向けに出前講座かりフレットを配布してほしい(運営について・修繕工事について等)
2栗東駅前の花壇を充実してほしい。泉は復活させないのならきちんとした花園にしてほしい。
3例えばさきからパネルディスカッションで住民の声をきながら栗東市の良さを紹介したり活動紹介したり理想のモデル(住まい・住環境)を提案してバーチャルリアリティーで体験してもらうのはどうでしょうか。

大きな公園(緑があって、水場があって、ベンチがあって)や遊歩道があればいいのに。

街並み・景観・環境の整備に大いに役立てて下さい。これからも頑張って益々のご発展を祈念致します。

公園。栗東には大きい公園がない!!! じゅらくの里、水口スポーツの森の公園、帰帆島公園等周りの市町にはあるけど栗東にはない。ぜひ作って頂きたい!!!

草津・守山のような高層化・都市化は、栗東駅周辺はならないでほしい。栗東の今の自然環境は守ってほしいと思う。

道路の安全対策、景観を明るくする。自然や歴史のある場所を生かした環境。

災害対策、安全・防犯	17件
<p>①住宅地の空き家が増えると、防犯面でも注意が必要。 ②地域毎のコミュニケーションも必要。</p> <p>交差点に防犯カメラも置いて欲しい。田んぼから住宅に変わっているが、スーパー等なくて不便。1号線へ出るのもラッシュ時大変。</p>	
<p>田んぼを住宅用に転用するな。ミニ開発の宅地が●●なり。都市として整理できていない。災害時に困る。ごちゃごちゃしすぎ。都市計画がむちゃくちゃ。</p>	
<p>今あるものを大切にすの心育成(古き良きものの値打ちを知る)と現在の課題(自然災害や流行被害etc)を見つめて行政が強行指導することが大切</p>	
<p>災害の少ない町としてのアピール 水害等あった場所のメンテナンス強化 金勝山から見える夜景がキレイ</p>	
<p>周りを安全に整備してもらうなどすると、栗東市の良さをアピールできると思います。(やはり便利な守山、草津に移っていく方が多いなと感じるので)</p>	
<p>子供、高齢者に優しい環境は誰にとっても住みよい環境と思われる。身近な公園の整備、暗い人が少ない場所、道の安全等(防犯舎)自治会だけでは対応に差があるので栗東市でも取り組んでいただけると幸いです。</p>	
<p>子供達が通学する時間は、大人にとっても忙しい時間で、スクールゾーンや通りを横断する際、古いお家や公園や川などの雑草や大きな木によって見にくくなっているところが無くなって、子供もお年寄りも安心してお散歩など出来る町になればいいと思います。コロナで大変な一年となりましたが、栗東市の為にご苦労様です。一日も早く安心して生活できる日が来る様に、頑張りたいです。</p>	
<p>保育園の迎えの時間になると、帰り道のベンチで(歩道)喫煙している方がいます。さきらの灰皿がなくなったのはいいことなのですが、周辺道路も禁煙区域としてほしいです。保育園や学校周辺せめて登下校の時間帯など(京都のように歩道に禁煙マークや、罰金などの制度の導入など)</p>	
<p>無駄な工事などはやめて、まず住みやすい環境づくり(利便性や周辺の防犯など)を優先して欲しい。本当に必要なことを！</p>	
<p>・地球温暖化で栗東市の市民ができる事をアピールしてほしい。(こんなことならあなたでもできますよ！)防犯面でもこうすれば安全ですよ</p>	
<p>アルブラ栗東周辺で夜中の騒音が気になる事があります(おそらくバイクが何か)またアルブラ栗東とウイングビュー(マンション)の間の道路でほとんどの車が一時停止線を越えてくるので歩いていると怖い事があります。パトロール等をやってもらえると安心ですが…</p>	
<p>騒音対策(バイク、爆音車等)</p>	
<p>水害対策一溝の幅や深さ、掃除(これが全くできてきかない)近年雨が降ると今までの様子と全く違うように思います。自然には勝てません。</p>	
<p>主要道路(以外にも)に防犯カメラの設置をしてほしい。低所得者や家族(特に子供)が多い家庭における税などの低減を考えてほしい。</p>	
<p>住とは土地とのかかわりがある。家と家の間が狭い。もし火事があったら…。今頃は住宅がきっちり整っています。</p>	
<p>他の市に比べて税金が高い。水害対策。珍獣(コウモリ)など駆除。</p>	
買い物・にぎわい等	11件
<p>最近住宅ばかりふえて、世帯数に比べてスーパーなどの店が少なく不便である。</p>	
<p>産業・住居も必要だと思いますが店舗(食品の小売りなど)ももう少し必要。栗東の魅力はトレセンだけではないと思う。</p>	
<p>コロナ禍で自宅で過ごす人が多く、レンタル(DVD本、ゲーム)店が栗東にはないので不便。皆、草津や守山まで出向いている。ドラッグストアばかり増やすのではなく、そういったことも必要では？</p>	
<p>ファッション、アパレル関係の店を増やしてほしい</p>	
<p>1. 山や林などの広大な土地と資源を有効活用する 2. 栗東駅前をもっと魅力的かつ活力のある場に(高層住宅ばかりで景観的にも消費的にもつまらない) 3. 大型商業施設の呼び込みと個人商店の保護をバランス良く実施する</p>	
<p>駅周辺にコンビニが欲しいです。</p>	
<p>栗東駅、手原駅前の発展を進めて下さい。</p>	
<p>大型ショッピングモールや若者世代や家族みんなで楽しめる施設があるとよいと思う。(コストコやイケア、loftなど)</p>	
<p>JRA以外の企業誘致活性化。青少年育成の推進。</p>	
<p>カフェやレストランがもっとあるとよい。</p>	
<p>大型店(買い物や子供のものが買える場所)が近くなかったり、小児科や病院も少なかったりして、近くにあったらと思います。</p>	

その他	15件
街のコミュニティーが充実した栗東市になれば良いと思います。	
栗東市の良さを活かして魅力ある住まいや住環境づくりを進めていくための提案と言われても、子供たちは親と同居せず、自分の家を持ちローンにおわれ、余裕の無い時代と考えます。今のところ、良い提案がうかびませんが、栗東市にはトレセンがあるので馬に関係する何かが出来ないでしょうか？	
左義長や地蔵盆などの伝統的行事を子供達に伝えて、お年寄から子供まで集えるコミュニティーのある環境があれば良いなと思います。	
私は大津市瀬田栗林から下戸山に10数年前に移住しました。数年後に近隣の方が飼育されているペット(ネコ、イヌ)の排泄物の処理に少し悩みました。	
地球温暖化に対応して、ECOな環境づくりの推進。SDGsの目標に向けた対応	
任意加入である自治会に入らないと、近隣のゴミ捨て場が使えないという強制加入のような方法を改めて頂きたい。市役所に問い合わせたら、各自治会に任せています…と言われたので、きちんと見て下さい。住みにくいです。(栗東市)	
こういうアンケート類を電子化にしないのですか？引っ越しして4年目ですが、栗東市のアナログ具合に驚いています。せっかく住み良い街なのでそちらも発展させてください。以上。	
第一種…(赤坂)だけど、高さ制限が必要だ⇒6か月間直射日光が当たらない日が出てきた。建ぺい率の厳守にも？がある。田中町長⇒生垣を推奨していたが今は駐車場に替わっている。	
今年はコロナの流行でサロンやいろいろな会での食事会等集まる事が出来なかった。TELや出先から一寸寄ったりで顔を見たりしたが早く終息して元気に集まりに参加したい。	
働きやすい環境が必要かと思えます。栗東市は製造業が多く、若い人が働く場所が足りないので、企業が栗東市に集まる環境作りが必要！(パソナが淡路島に)	
栗東市のホームページが見つらいので調べる時に困っている。	
前に一度住みやすい町ランキングで上位にあったからこそもう一度上位へランクインできるように頑張っていたきたい。	
このアンケートのように、住民の声を聞いて、取り組んでほしい	
都市計画とその先の見込みの提供、住みよい街になるのか？住民の参画による都市計画。	
他県に何年か住んでいたが、栗東市は暖かい人が多くとても住みやすかったので、転勤族のため親・兄弟関係があるわけではないが、持家を購入しました。便利で生活しやすいのでとても気に入っています。	

5. 市民アンケートのまとめ

設問【1.～3.】		調査結果のまとめ
1. 回答者の属性	家族構成	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の性別は男女ほぼ半々。年齢は70代(20.5%)が最も多く、80代(7.4%)が最も少ない 30代～60代は、概ね同じ割合 家族人員は、2人世帯(31.2%)、3人世帯(24.4%)、4人(20.2%)が多く7割以上 家族構成は、夫婦と子(41.1%)夫婦のみ(26.7%)が多く、約7割 同居家族は、65歳以上(31.8%)との同居が3割以上。いずれもいない(29.1%)も約3割
	居住状況	<ul style="list-style-type: none"> 栗東市での居住年数は、30年以上(47.1%)と最も多く、全体の約5割 現在の居住地(小学校区別)は、金勝(8.1%)が、比較的少ないが、概ね同じ割合 現在の居住地での居住年数は、30年以上(34.3%)と最も多く、次いで、10年以上30年未満(33.7%)と、10年以上現在の居住地区に住んでいる人が、全体の約7割
	車保有状況	<ul style="list-style-type: none"> 保有状況は、持っている(90.9%)が9割。保有台数は、1台(44.1%)が最も多く、2台(35.5%)
	通勤通学状況	<ul style="list-style-type: none"> 職業は、会社員・公務員(35.7%)が多く、次いで無職(22.1%)、専業主婦(主夫)(17.6%) 通勤・通学先は、県内の市外(54.2%)、市内(32.3%)で、県外(9.7%)は約1割
	居住形態	<ul style="list-style-type: none"> 居住形態は、持家(戸建て)(70.0%)、持家(共同住宅)(9.7%)と持家が全体の約8割 家族構成別居住形態では、ひとり親と子では借家(共同住宅)(26.9%)と借家の割合が高い傾向
	建築年数	<ul style="list-style-type: none"> 現在の住宅の建築年数は、30年～50年未満(24.0%)が最も多く、次いで、10年～20年未満(22.5%)、20年～30年未満(20.5%)。10年以上現在の居住地区に住んでいる人が、約7割 家族構成別の建築年数をみると、夫婦と子、夫婦のみ世帯で、比較的建築年数が少ない傾向
2. 住まい・周辺環境	お住まい(住宅)満足度	<ul style="list-style-type: none"> 住まいに対する総合的な評価は、満足+やや満足(45.2%)、普通(41.9%)、不満+やや不満(13.0%)と、全体としては不満率は低い 家族構成別にみると夫婦のみ、ひとり親と子世帯では、不満と感じる人が比較的多い傾向 住宅への評価は、面積的な面に対する満足度は高く、質的な面に対する満足度が低い傾向
	お住まいの周辺環境(住環境)満足度	<ul style="list-style-type: none"> 住環境に対する総合的な評価は、満足+やや満足(27.9%)、普通(58.4%)、不満+やや不満(13.7%)と、不満率は低い、普通と評価する割合が高く、満足率は低い傾向 住環境への評価は、生活の利便性に対する満足度は高く、生活の安全面や子育て世代支援に係る項目で満足度が低い傾向
	居住年数別の満足度	<ul style="list-style-type: none"> 居住年数別にみると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上30年未満で満足度が高い傾向 住宅では、居住年数が長い方が、不満度が高くなる傾向 居住年1年未満の場合、住宅や居住地を選択してからの期間が短いため、満足度が高いと推察
3. 栗東市らしい住まいや住環境	「栗東市の住み良さ」自慢	<ul style="list-style-type: none"> 自慢できる点は、京都・大阪方面へのアクセスが便利(50.7%)、買物、医療などの日常生活の利便性が高い(44.7%)、身近に豊かな自然がある(37.3%)、災害や犯罪が少ない(35.8%)等、立地や生活の利便性、自然環境が高い評価 一方、障害のある人が暮らしやすい(2.1%)、子どもや高齢者にやさしい交通環境がある(3.4%)、住民主体のまちづくりが盛ん(3.4%)は少なく、幅広い世代・世帯に対応した住環境や地域コミュニティの面では課題がある
	住まい・住環境の重視点、優先度	<ul style="list-style-type: none"> 重視点は、短期的(5年以内)では、地震などの災害に強い安全な(36.8%)、子育てが安心してできる(32.6%)、高齢になっても住み慣れた地域に住み続けることができる(23.6%)が多い 長期的な視点では、高齢になっても住み慣れた地域に住み続けることができる(56.1%)が最も高く、5割を超える また、長期的視点では、社会的な環境課題や地域全体の課題に対する視点が高くなる傾向

5. 市民アンケートのまとめ

設問【4.～10.】		調査結果のまとめ
4. 定住・転居意向	定住意向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み続けたい(59.7%)が最も多く、定住意向は高い ・ 家族構成別にみると、ひとり親と子以外の世帯で、住み続けたいが6割を超える ・ 住み替えられない理由は、資金がないから(67.1%)が最も多く、次いで「雇用や家計の先行きに不安を感じているから(10.5%)で、全体の約8割と経済的な理由が大きい
	住み替え理由と希望地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み替えたい場所は、市内の街なか(28.2%)が最も多く、次いで、県内の他市町(14.9%) ・ 選択理由は、日常生活における利便性をあげる意見が多い ・ 県内他市町で具体的に挙げられたのは、草津市(17件)、守山市(6件)、大津市(3件)、県外では京都府(5件)、大阪府(2件)等
5. 住宅や住環境で重視する点	住宅選択の重視点・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価(合計点)でみると、日常の買物、医療施設などの利便性が特に多く、次いで、地震・台風等の災害に対する安全性、火災・地震・水害などに対する安全性、福祉・介護等の生活支援サービス、通勤・通学の利便性が上位 ・ 日常生活における利便性が最も重視され、次いで、安全・安心して暮らせる住宅・住環境が重視されていることか見て取れる
6. 住宅リフォーム	リフォーム意向と理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在予定はない(48.8%)が全体の5割近くを占め、次いで、すでに実施した(18.0%)、「賃貸なのでできない(14.7%)と、リフォーム予定の無い世帯が多い ・ リフォームの内容は、台所や浴室、トイレの改善(63.6%)が最も多く、次いで、屋根、外壁の改善(46.1%)、内装の改善(45.5%)が多い ・ 一方、設備に関する省エネルギー化(14.9%)、基礎、構造の補強(耐震化)(9.1%)は少ない
	リフォーム予定にない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定していない理由は、今の住まいに満足(44.5%)を除くと、資金がなくあきらめている(21.2%)が多く、経済的理由が多い
7. 高齢期住まいニーズ	高齢期世帯の住まい重視点・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢期に希望する住まい方は、現在所有する、または将来購入する持家、分譲マンション等に住み続けたい(61.0%)が最も多く6割 ・ 必要な取り組みは、住み慣れた地域で生活していくための生活支援・介護サービスの充実(51.7%)が最も多く5割以上
	高齢期世帯に必要な住宅性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関外のスロープの設置などによる段差の解消(62.0%)、手すりの取り付け(61.6%)が多く約6割、次いで、滑りの防止や移動を円滑にするための床材の変更(38.6%)、便器や浴槽の取り換え(31.8%)、玄関や廊下、ドアなどのスペースの確保(31.2%)
8. 子育て世帯の住まい	子育て世代の住まい重視点・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住まいの重視点は、家族の集いや交流を促す間取り(34.3%)が最も多く、次いで、子供の足音や泣き声などの騒音対策(27.1%)、家賃など住宅費の負担の適度さ(25.2%)、住宅の広さ(23.1%)が多い
	子育て世代の住環境重視点・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重視点は、子どもの遊び場、公園など(31.8%)が最も多く、次いで、まわりの道路の歩行時の安全性(23.1%)、幼稚園、小学校などの利便性(23.1%)が多い
9. 住まいと暮らしに関する情報	情報提供ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住まい・暮らし情報への関心度は、住まいのメンテナンス、長寿命化(34.5%)が最も多く、次いで、住まいの耐震化(25.8%)、住まいの省エネルギー化(22.3%)、住まいの構造や建て方(20.2%)といった情報への関心が高い
10. 魅力ある住まいづくりのための提案	政策ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 128件の提案。道路交通や公共交通(38件)、子育て・高齢者等、福祉・公共サービス(28件)等の意見が多く寄せられた

5. 市民アンケートのまとめ 現況・問題点

○栗東市は、立地や生活の利便性、自然環境において高く評価されている一方で、幅広い世代に対応した居住環境や地域コミュニティへの対応の検討が必要である。

栗東市の住宅における現況・問題点

○満足度の評価が高い項目について

- ・広さや間取り、緑の豊かさなどの**景観や買い物の利便性に対する満足度が高く**、「京都・大津方面へのアクセスが便利」「買物、医療などの日常生活の利便性が高い」「災害や犯罪が少ない」「身近に豊かな自然がある」等、**立地や生活の利便性、自然環境が高く評価**されている。

○満足度の評価が低い項目について

- ・住宅については**バリアフリーの対応や環境性能（断熱性や省エネ設備）**、周辺環境においては、「障害のある人が暮らしやすい」「子どもや高齢者にやさしい交通環境がある」「住民主体のまちづくりが盛ん」など**福祉・介護などの住宅支援サービスや子育て支援サービスの満足度が低く**、幅広い世代・世帯に対応した居住環境や地域コミュニティの面で十分とは言えない。

○定住意向について

- ・今後も住み続けたいとする意見が多く、高齢期においても現在所有する、または将来購入する持家、分譲マンション等に住み続けたいとする要望が高い。また、高齢期に安心して生活していくために、「**住み慣れた地域で生活していくための生活支援・介護サービスの充実**」の要望が多い。

－協議事項－

1. 第二次栗東市住生活基本計画の方針とポイント
-

6. 第二次栗東市住生活基本計画の方針とポイント

○現行計画の評価・策定後10年の社会情勢の変化を受けて、第二次計画の柱とその方針となるポイントを下記に示す。

現行計画(平成24年度)

基本理念:

ともに育む「風格都市 栗東」の豊かな住生活
～生涯安心して暮らせるまちづくり～

長期的な視点として次期計画
においても継承(仮)

基本目標と基本方針:

(重点施策に位置付けられた項に下線)

4つの柱(基本目標)をもとに推進

基本目標	基本方針
I【居住環境】 誇りと愛着が持てる 居住環境の育成	①住教育の促進 ②良好な街並み景観の形成 ③地域コミュニティの醸成 ④安全・安心で暮らしやすい 都市基盤整備
II【住宅ストック】 百年先を見据えた住 宅ストックの形成	①長く利用できる長寿命な住宅づくり ②環境負荷低減型の住宅づくり ③災害や犯罪に強い住宅づくり ④人にやさしい住宅づくり
III【住宅市場】 多様な居住ニーズに 適切に対応する住宅 市場の形成	①中古住宅ストックの流通促進 ②伝統的民家の継承・活用促進 ③栗東産木材・県産木材の活用促進 ④適時・適切な住み替えの促進
IV【セーフティネット】 柔軟かつ多様な住宅 セーフティネットの 構築	①市営住宅ストックの有効活用 ②多様な住宅セーフティネット 機能の充実 ③高齢者の居住の安定化 ④子育て世帯支援サービスの充実

10年経過

第二次計画(令和4年度)

■様々な住生活を取り巻く状況の変化

- ・本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来
- ・子育て環境の充実・高齢者福祉の需要拡大
- ・空き家・空き地等の住宅ストックの増加
- ・自然災害の頻発・激甚化

- ・市営住宅の老朽化・行政の管理費負担の増加
- ・2050年脱炭素社会の実現への要請
- ・効率的・効果的な行政サービスの実施・民間活力の導入機会の拡大
- ・……など

社会環境の変化や人々の価値観の多様化に対応した豊かな住生活の実現が求められている

■第二次基本計画の柱とポイント(仮):

柱とポイントは一対一対応に限らず
複数に該当する想定

第二次計画の柱	第二次計画の方針(ポイント)
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな日常への対応や新技術の活用 ・災害に強い安全な住宅・住宅地の形成 ・ ・ ・
行政改革	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用(アウトソーシングの実施) ・実効性のある計画 ・まちづくり部局や福祉部局などとの積極的な連携 ・ ・ ・
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい住環境の実現 ・障がい者・高齢者が安心して暮らせる住環境の実現 ・福祉施策と一体となったセーフティネット機能の整備 ・ ・ ・
住宅ストック	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会に向けた長寿命化の促進・空き家対策等 ・市営住宅の長寿命化・管理戸数の見直し ・ ・ ・ ・